# 第２回熊谷市荒川かわまちづくり協議会　次第

日　時　令和６年８月８日(木)
13:30～15:30
場　所　熊谷市立文化センター文化会館　第一練習室

## １ はじめに、開　会

## ２ 議　　事

### （１）報告事項　　資料１

１）第１回熊谷市荒川かわまちづくり協議会の振り返り

２）第１回熊谷市荒川かわまちづくりワークショップの開催概要

３）事例紹介　千代田地区かわまちづくり（広島県福山市）

### （２）審議・質疑・意見交換　　資料２

１）論点１・２　かわまちづくりの目標・方針（案)、計画対象範囲（案）

２）論点３　ゾーン・主要機能配置（事務局案）

３）論点４　活動の展開（ハード・ソフト施策）（事務局案）

４）社会実験企画（事務局案）

５）その他　自由意見

## ３ 今後の進め方、おわりに、閉　会　　資料３

【配布資料】
・次第
・第２回熊谷市荒川かわまちづくり協議会出席者名簿／座席表
・資料１　第１回熊谷市荒川かわまちづくり協議会議事要旨
　　第１回荒川かわまちづくりワークショップ開催概要
・資料２　論点１・２　かわまちづくりの目標・方針、計画対象範囲（案）
　　論点３　ゾーン・主要機能配置（事務局案）
　　論点４　活動の展開（ハード・ソフト施策）（事務局案）
　　社会実験企画（事務局案）
・資料３　今後の進め方について（スケジュール、次回協議会について）

別紙
・熊谷市荒川かわまちづくり協議会　規約
・事例　千代田地区かわまちづくり（広島県福山市）
・関係者ヒアリング、協議会、ワークショップ意見まとめ

以上

**第２回熊谷市荒川かわまちづくり協議会 出席者名簿(令和６年８月８日) 10名**

| 役職名 | 区　分 | | 氏　名 | 所属 | 出席 |
|---|---|---|---|---|---|
| 会長 | 学識経験者 | | 田中（たなか）　規夫（のりお） | 埼玉大学大学院 理工学研究科<br>環境社会基盤専攻<br>(兼)社会変革研究センター<br>レジリエント社会研究部門 | ○ |
| 委員 | 地区を代表する者 | | 野口（のぐち）　幸雄（ゆきお） | 荒川自治会連合会 | － |
| 委員 | 関係団体を代表する者 | 商工産業 | 岡部（おかべ）　聡史（さとし） | 熊谷商工会議所 | － |
| 委員 | | | 大澤（おおさわ）　重明（しげあき） | 一般社団法人　熊谷青年会議所 | ○ |
| 委員 | | スポーツ振興 | 赤沼（あかぬま）　昇（のぼる） | 公益財団法人　熊谷市スポーツ協会 | ○ |
| 委員 | | 観光振興 | 野口（のぐち）　一都（かずと） | 一般社団法人　熊谷市観光協会 | ○ |
| 委員 | | 教育 | 小川（おがわ）　義人（よしひと） | 熊谷市立桜木小学校 | ○ |
| 委員 | | 福祉<br>子育て | 高橋（たかはし）　美香（みか） | 熊谷市障害者団体連絡協議会 | ○ |
| 委員 | | | 大﨑（おおさき）　幸恵（さちえ） | NPO 法人　子育てネットくまがや | ○ |
| 委員 | | 環境 | 須永（すなが）　伊知郎（いちろう） | 公益財団法人<br>埼玉県生態系保護協会 | ○ |
| 委員 | | | 栗原（くりはら）　毅（たかし） | NPO 法人<br>熊谷の環境を考える連絡協議会 | ○ |
| 副会長 | 市職員 | | 山下（やました）　克己（かつみ） | 熊谷市　建設部 | ○ |

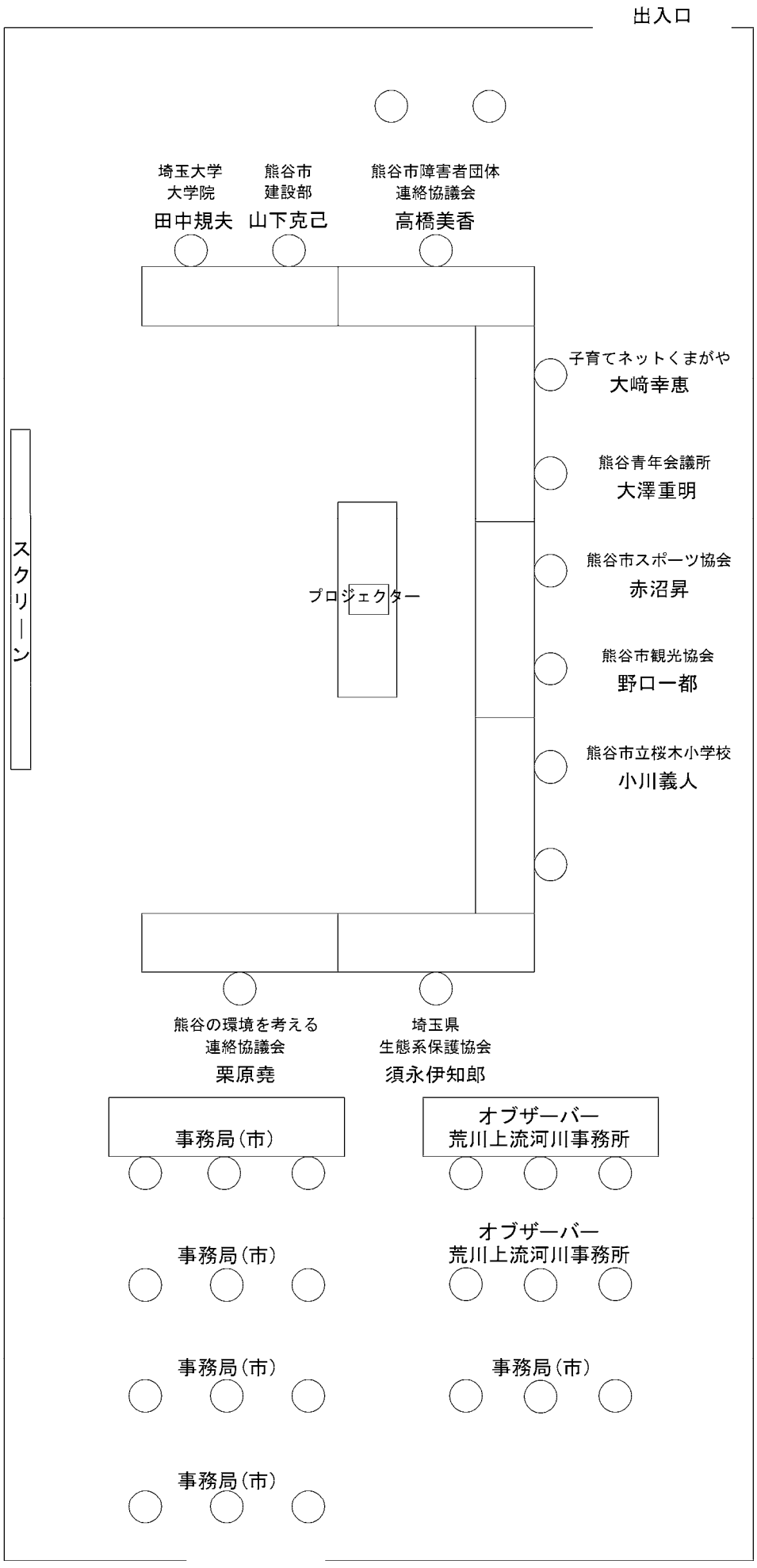
【事務局】

熊谷市　建設部河川課
都市整備部都市計画課
都市整備部公園緑地課
産業振興部商業観光課
総合政策部スポーツタウン推進課

【オブザーバー】

荒川上流河川事務所　流域治水課
河川環境課

# 座席表


出入口
埼玉大学
大学院
田中規夫
熊谷市
建設部
山下克己
熊谷市障害者団体
連絡協議会
高橋美香
子育てネットくまがや
大﨑幸恵
熊谷青年会議所
大澤重明
熊谷市スポーツ協会
赤沼昇
熊谷市観光協会
野口一都
熊谷市立桜木小学校
小川義人
スクリーン
プロジェクター
熊谷の環境を考える
連絡協議会
栗原堯
埼玉県
生態系保護協会
須永伊知郎
事務局（市）
オブザーバー
荒川上流河川事務所
事務局（市）
オブザーバー
荒川上流河川事務所
事務局（市）
事務局（市）
事務局（市）

資料 1

# 第１回熊谷市荒川かわまちづくり協議会　議事録

（要点筆記）

●日　　時：令和 6 年 5 月 28 日(火)　14 時から 16 時まで

●場　　所：熊谷市立文化センター文化会館　第一練習室

●次　　第：1. はじめに、開会
2. 委員紹介、会長・副会長の選任
3. 議事　(1)協議会の設立趣旨・規約(案)
(2)情報共有
(3)質疑・意見交換　かわまちづくりの基本方針について

●出席者：（出席委員）田中規夫会長、山下克己副会長、野口幸雄委員、大澤重明委員、
赤沼昇委員、野口一都委員、小川義人委員、高橋美香委員、
大﨑幸恵委員、須永伊知郎委員、栗原堯委員
（欠席委員）岡部聡史委員(代理出席：宮崎誠)
（事務局）熊谷市　建設部河川課、都市整備部公園緑地課、
産業振興部商業観光課、総合政策部スポーツタウン推進課
（オブザーバー）荒川上流河川事務所　流域治水課、河川環境課
徳島大学客員教授　澤田俊明

●資　料：次第
委員名簿/座席表
資料 1　協議会について（設立趣旨、規約(案)）
資料 2　情報共有　熊谷市荒川かわまちづくりについて
資料 3　今後の進め方について（スケジュール）

| | |
|---|---|
| **1. はじめに、開会** | |
| 事務局 | ・開会の挨拶。 |
| **2. 委員紹介、会長・副会長の選任** | |
| 事務局 | ・委員の紹介。<br>・田中委員を会長に、山下委員を副会長に選任することを提案し、全会一致で選任された。 |
| **3. 議事　(1)協議会の設立趣旨・規約(案)** | |
| 事務局 | ・資料 1 をもとに、協議会の設立趣旨・規約（案）を説明し、内容について委員に承認された。 |
| **(2)情報共有** | |
| 事務局<br>事務局 | ・資料 2 を基に、1)計画の背景、2)地域ニーズについて説明した。<br>・資料 2 を基に、3)かわまちづくりの基本方針(事務局案)と論点、4)協議会とワークショップの検討プロセスについて説明した。 |
| **(3)質疑・意見交換** | |
| 【質問-①】<br>委員<br>事務局<br>会長<br>事務局 | <br>・体育館の案件もあるので想定が難しいと思うが、何年くらいかけてまちづくりを進めていくのか。<br>・資料 3 に記載しているように、令和 7 年 8 月登録を目指して進めている。整備内容によって多少前後するが、概ね 5 年以内に整備されている事例が多い。<br>・当面の範囲と将来範囲があるが、5 年以内の整備というのは当面の範囲の整備で間違いないか。<br>・間違いない。 |
| 【質問-②】<br>委員<br>事務局 | <br>・現状の方針が実現した場合、現在と比べて、どのような範囲、世代、目的など、今は利用していない（できない）利用者が増えると想定できるか。また、今利用している人はどうなるのか。<br>・詳細な整備内容は今後のワークショップや協議会を通して決定する。ヒアリングの結果では、家族やお年寄り、子供が楽しめる施設のニーズが高い。 |
| 【質問-③】<br>委員<br>事務局<br>会長<br>事務局 | <br>・ワークショップの対象年齢の範囲はどうなっているか。<br>・年齢制限は設けない。<br>・家族やお年寄り、子供のニーズが高いことから、その世代が参加できるよう今後調整することで間違いないか。<br>・間違いない。 |
| 【質問-④】<br>委員 | <br>・河川敷という制約のある空間に、日陰を作るための植栽や休憩用ベンチの |

| | |
|---|---|
| | 設置は可能か。現状、既存の植栽の下にグラウンドゴルフをしているお年寄りが集まっている姿が見られる。 |
| 事務局 | ・休憩施設が欲しいという意見が多くいただいている。植栽やベンチ、四阿等、どのような手法にするかについては今後協議会やワークショップで検討する。 |
| 会長 | ・河川敷であるため、植栽等を設置可能な場所と不可能な場所があるが、手法やルールを決めて決定していく必要がある。 |
| 【質問-⑤】 | |
| 委員 | ・取り組みたいことの優先順位は決まっているか。 |
| 事務局 | ・現時点では優先順位は決まっていない。今後の協議会やワークショップを通して、限られたスペースで何を行うかについて決定していきたい。 |
| 【論点 1-①】 | |
| 委員 | ・現状、下流区間の川と護岸の間が整備されていない。釣りや涼などの水辺の魅力の充実をしてほしい。 |
| 会長 | ・川が護岸に迫っているところは人が近づくのは危険であり、現状をどうするか検討する必要がある。 |
| 【論点 1-②】 | |
| 委員 | ・方針 1-3 自然環境・風景についての具体策として、荒川緑地の下流側の坂路周辺の自然再生整備が望ましい。「荒川河川敷の保全と利用のあり方」において、計画エリアは利用ブロック（8 割はスポーツ等で利用し、2 割は自然再生を含めて保全する）に該当するが、荒川緑地の下流側の坂路周辺は保全エリアとして草刈りのみがされており、ふさわしい自然再生整備が行われていない現状である。以前、荒川緑地拡張時に熊谷市公園緑地課から相談を受けていたが、現状は変わっていないため、かわまちづくり支援制度に「自然再生」が加わったことも踏まえ、本かわまちづくり計画をきっかけに未整備区間で自然再生に取り組み、地域住民や子供が自然に触れあう場所として活用するのが良いのではないか。 |
| 【論点 1-③】 | |
| 委員 | ・新市民体育館は 5 年以内に完成することが難しそうであるが、駐車場整備などといった荒川公園周辺再整備計画との連携の具体案を示しながら進めてほしい。 |
| 事務局 | ・新市民体育館の建て替えや熊谷駅南口再整備事業などの関連計画については、担当課と情報共有を行っている。 |
| 会長 | ・いただいた意見を整備ができるかどうかも踏まえ、担当課と情報共有するということで問題ないか。 |
| 事務局 | ・問題ない。かわまちづくり計画だけが先に進まないよう調整する。 |

| | |
|---|---|
| 【論点 1-④】 | |
| 委員 | ・桜木小学校周辺は、歩行者、自転車、車の動線が重なり、いつ事故が起きてもおかしくない危険な状態である。一方でキジが飛んでいるような場所でもある。そのため、活動ごとの動線を整理し、皆が安心安全に利用できるようになると良い。 |
| 会長 | ・魅力が増え、いろいろな目的の人が集まると、この問題はさらに顕在化していく。この問題についてワークショップで議論を進めるということで問題ないか。 |
| 事務局 | ・問題ない。安全・安心についての意見は多くいただいている。 |
| 【論点 2-①】 | |
| 委員 | ・赤枠のコアエリアとオレンジ枠の将来活用エリアがあるが、オレンジ枠の将来活用エリアはどこまで広がっているのか。 |
| 事務局 | ・かわまちづくり計画では主に河川敷の整備であるが、動線や安全・安心の観点から、周りの影響範囲として赤枠のコアエリアとしている。 |
| 【自由意見-①】 | |
| 委員 | ・荒川の水害に関する対策について、川辺だけでなく避難施設も含めて検討してほしい。 |
| 事務局 | ・新市民体育館の事業の方で、避難所や避難施設をどう組み込むかを検討している。 |
| 【自由意見-②】 | |
| 委員 | ・市内で進めている道の駅や新市民体育館事業など、事業の共通イメージはあるか。熊谷市のブランディングは何か。 |
| 事務局 | ・道の駅事業等は別部署の事業となるため、次回の協議会で回答させていただく。 |
| 副会長 | ・市全体の計画（熊谷市総合振興計画等）の中で各事業を進めている。 |
| 副会長 | ・現状の利用状況を教えていただきたい。 |
| 事務局 | ・上流から、ソフトボール場ではソフトボールを、運動広場では熊谷女子高校がラクロスを、自由広場ではサッカーを、ラグビー場ではラグビーをしている様子が平日も休日も見られる。利用者の多い限られた場所で、敷地の整理ができるかについては関係団体を含めて調整し、現利用形態をできるだけ維持しながら進めていきたい。 |
| 事務局 | ・事務局より、その他頂いた意見を読み上げにより紹介。 |
| 会長 | ・様々な視点から頂いたご意見を事務局で整理したうえで、今後のワークショップの議論に活かしてほしい。 |
| 副会長 | ・限られたエリアで課題もあるが、ワークショップの結果を踏まえた事務局案について、次回の協議会で検討いただきたい。 |

| **4. 今後の進め方、終わりに、閉会** | |
|---|---|
| 事務局 | ・資料 3 を基に、今後の進め方（スケジュール）について説明した。<br>・熊谷市で行ったアンケート調査結果について、まとめたものを今後の協議会で配布する予定である。 |
| オブザーバー | ・閉会の挨拶。 |
| 副市長 | ・閉会の挨拶。<br><br>以上 |

# 第1回熊谷市荒川かわまちづくり協議会　意見交換まとめ

●質問

赤字…第1回協議会後追記

| 項目分類 | 委員記述 | 発言記録 | 事務局回答 |
|---|---|---|---|
| スケジュール感 | かわまちづくりの計画作成から整備着工、供用開始までの全体スケジュール感を教えてください。 | | R7年8月登録、登録後５年以内に整備するイメージです。 |
| | 期間は何時頃かかるのか。 | | |
| | 体育館の案件もあるので想定が難しいと思いますが何年ぐらいかけてまちづくりを進めていくのでしょうか。 | | |
| | 計画の策定期限等はあるのか。 | | R7年8月登録予定。<br>5年以内に整備するイメージ。 |
| 施設整備 | 暑い街熊谷、日影を作るための植栽は可能か。休憩用のベンチの設置は可能か？ | 大木等は日影。お年寄りも集まる。グランドゴルフ。 | ベンチ、東屋等、植栽等今後WS等で協議予定。 |
| | | お年寄りの方がグランドゴルフ等で利用する際に日陰に集まるため陰をふやしてほしい。 | |
| 優先順位 | 取り組みたいことの優先順位は？ | | 優先順位は考えていない。スペースは限られている。今後検討予定。 |
| ワークショップの対策年齢 | ワークショップの対象年齢の範囲はどうなっていますか？ | | 年齢制限は考えていないが詳細は今後検討。<br>年齢制限等はなしで募集を行いました。 |
| | | | 家族やお年寄り、子供が楽しめる施設としていく。 |
| どうしたいのか？ | もっと簡単に具体的にどうしたいのか。 | | |
| 利用者増の想定？ | 現状の方針が実現した場合、現在と比べて（どのような範囲、世代、目的など）今は利用していない（できない）利用者が増えると想定できるでしょうか。 | | 家族、お年寄、子供を対象とした施設。 |

●論点１：方針

赤字…第1回協議会後追記

| 項目分類 | 委員記述 | 発言記録 | 事務局・会長 |
|---|---|---|---|
| 魅力づくり | 時間軸として、魅力を継続的につなげているかというチェックはされているか。 | | |
| | オンリーワン、ナンバーワンとしての魅力づくり。 | | |
| | 水辺の魅力の充実。　例：釣り・涼 | 下流区間は川と護岸の間が整備されていない。 | 深掘れ箇所は危険な箇所（護岸）。 |
| 荒川公園周辺再整備計画連携の具体策 | 荒川公園周辺再整備計画との連携の具体策がほしい。 | 連携を考えると体育館は5年以降。<br>例えば駐車場の整備など具体の項目を示しながら。 | 関連の担当部署と情報共有しながら進めている。 |
| | | | 南口エリアの再開発事業についても他の課と連携して進めている。 |
| | 市民体育館周辺整備との関わり方連携等。 | | 市民体育館建替えや熊谷駅南口再整備事業と連携を取れるように関係課と調整等を行いながらかわまちづくり計画を進めて参ります。 |
| | 南口の開発、体育館の建設と一体となってまちづくりを進めることで利便性が増す。連携が必要。 | | |
| 大切なエリア | 方針、1-3自然環境、風景の具体策について荒川緑地の範囲内において「かわまちづくり事業」の一環として自然再生整備が望ましいエリアがあります。 | 荒川緑地の東側、下流側の岐路について拡張時に市から相談を受け「荒川河川敷の保全と利用のあり方」の中で利用ブロックとしているが2割は自然を保全する。とあるが現状は活用されていない。 | |
| | | 4月よりかわまちづくりの中でも環境の植生の再生等、荒川の自然とふれあう場としても有効。 | |
| | | 未整備の区間の自然保全、再生（在来の草はらの再生）。 | |
| | | 子供達の自然触合の場。 | |
| 連携の視点 | 現状である程度は魅力として存在するものとこの取り組みで「創生」されるものが区別できると良い。 | | 今後の協議会、ワークショップを進める上で参考にして参ります。 |
| 参考事例 | 参考事例はわかりやすい。ここに熊谷の強みとニーズをのせていきたい。 | | |
| 動線 | 活動ごとの動線を整理したい。今、歩行、自転車、車両の動線が重なり危険な状態。 | いつ事故が起きてもおかしくない状況。<br>一方で良い環境（キジがいる）。 | ワークショップ等で議論していきたい。 |

●論点2：範囲

赤字…第1回協議会後追記

| 項目分類 | 委員記述 | 発言記録 | 事務局・会長 |
|---|---|---|---|
| 魅力づくり | 歴史に関する魅力の発信。<br>動線はどのようになっているか。<br>今回は範囲までででしょうか。 | | 動線（坂路）については第２回協議会にて協議して参ります。 |
| 住宅街範囲？ | 住宅街を範囲に含めた理由は？ | | 関係者ヒアリングでの意見を基にエリアを設定しました。住宅街はかわまちづくり計画対象範囲ではありませんが効果等が期待できるエリアとして位置づけました。 |
| | 対象エリアの所有又は管理者は？ | | 荒川の管理は国土交通省荒川上流河川事務所です。熊谷荒川緑地は市公園緑地課が荒川上流河川事務所から河川敷を占用して管理しています。 |
| | 駅から歩いて（体育館周辺）いける範囲を設定すると定住促進につながるのでは。 | | |
| 段階的整備 | 将来活用エリアはどのくらいの先の将来を見すえているのか。 | コアエリアはどこか？<br>赤とオレンジの違いは何か。 | かわまちづくりは主に河川敷まわりへの影響が赤いエリア。 |
| | 段階整備としてのエリア拡大。 | | |
| 範囲の視点 | 範囲は、提外地では「荒川緑地」全体提内地では「荒川公園」・「体育館」のエリアは最低限加えるべきと思います。 | | 堤外地の範囲は今後の協議会、ワークショップにて決めていきたいと思います。<br>堤内については体育館建替えや熊谷駅南口再整備事業などと連携を取って参ります。 |

●自由意見

赤字…第1回協議会後追記

| 項目分類 | 委員記述 | 発言記録 | 事務局・会長 |
|---|---|---|---|
| 交通・動線 | 駐車場の規模・位置。 | | |
| | 人の流れ。<br>駅から河川敷までのルート検討。 | | |
| | 車の流れ。<br>イベント開催時の渋滞対策。 | | |
| 環境・自然 | 自然環境を学ぶという点において手軽に安全に学べるポイントが少ないので整備が必要と考えます。 | | 範囲の設定は今後協議会、ワークショップ等を通して検討して参ります。 |
| | 暑さについての対策は必要。夏場は20分もいられないです。 | | |
| 魅力づくり | 桜祭り、花火以外に河川敷に来る機会がないのでイベントやスポーツ以外に訪れたくなる事があると人が増えると思います。 | | 協議会、ワークショップを通し、必要に応じて社会実験等を行い、にぎわい創出に向けた検討をして参ります。 |
| | 荒川に水車があったのをはじめて知りました。復活したらたのしそうです。 | | |
| 施設整備 | 北本市高尾地区のかわまちづくり水辺公園、舟運を模した水路をこどもたちの水あそび場にしている（参考まで）。 | | |
| | 河川敷内に付いては遊具などのセットを置くのか。 | | 今後、協議会、ワークショップ、河川管理者と協議をしながら検討して参ります。 |
| | 河川敷にある車いすトイレは（他の地域）防犯の観点からカギがかかっている事が多いので、何か対策を。 | | |
| | 参考事例　千代田地区のようなスケートボードパークの整備は可能か？ | | |
| | 現状の利用状況は？ | | 計画範囲（高水敷）はスポーツ利用が多くされており、現状の利用状況を整理した上で今後の計画を進めていきたい。 |
| | | | 上流より、ソフトボール場。<br>下流ラグビー場、サッカー場。<br>平日、土日は利用者いる。<br>限られた敷地をどう整備するか。 |
| | | | 現利用形態をできるだけ維持しながら進めていきたい。 |
| | 荒川の水害に関する対策について、川辺のみでなく、避難施設も含めて検討してほしい。 | | 体育館計画で避難施設について検討中である。 |
| 計画の進め方 | 先を見通しベストの絵を持って段階的計画を。 | | 今後、協議会、ワークショップ、河川管理者と協議をしながら検討して参ります。 |
| | 市内で進めている道の駅や体育館立て替事業の共通イメージはありますか？熊谷市のブランディングは。 | | 道の駅についての事業も市が全体計画の中で進めている。 |
| | | | 道の駅は別の計画の中で進めることになると理解頂きたい。 |
| | これから熊谷で育っていく子供たちのニーズも収集していくとよいのでは。 | | ワークショップで幅広い年代の意見を集めるため、年齢制限を設けず公募を行いました。 |
| | 河川敷までの動線も土手を下った所もデコボコ段差があったり、駐車場も大きな穴だらけだったので車いす、ベビーカー、足の不自由な人が使いにくいので出来ることから改善してほしい。 | | かわまちづくりの整備と併せて改善できないか検討して参ります。 |

# 第１回熊谷市荒川かわまちづくりワークショップ　議事録

（要点筆記）

●日　　時：令和 6 年 7 月 6 日(土)　14 時から 16 時 45 分まで

●場　　所：熊谷市荒川公民館

●次　　第：1. チェック・イン（開会、挨拶 等）
2. 情報共有その１（かわまちづくりの概要）
3. 情報共有その２（事前ヒアリングの結果）
4. ワークショップ
1）個人で考える：意見カードを書こう！
2）全体で確認：論点１(方針)への意見カード
3）グループで検討：論点２(範囲)、論点４(活動・活用)
4）グループ発表
5. チェック・アウト（連絡事項、挨拶、閉会）

●出席者：(出席者）計 25 名
（欠席者）計 2 名
（アドバイザー）埼玉大学教授　田中 規夫
（事務局）熊谷市　建設部
建設部河川課
都市整備部公園緑地課
総合政策部
総合政策部スポーツタウン推進課
（ファシリテーター）徳島大学客員教授　澤田 俊明

●資　料：プログラム（第１回)、ＷＳ参加者のみなさんへ
資料１ 熊谷市かわまちづくりワークショップ要領（案）
資料２ 情報共有その１（かわまちづくりの概要）
資料３ 情報共有その２（事前ヒアリングの結果）
資料４ 今後のスケジュール
（別冊資料）
別冊１ かわまちづくりの概要
別冊２ 熊谷市アンケート結果
別冊３ 熊谷市「かわまちづくり」への意見、事前ヒアリングの結果

# 意見交換結果概要

## 方針1（方針）

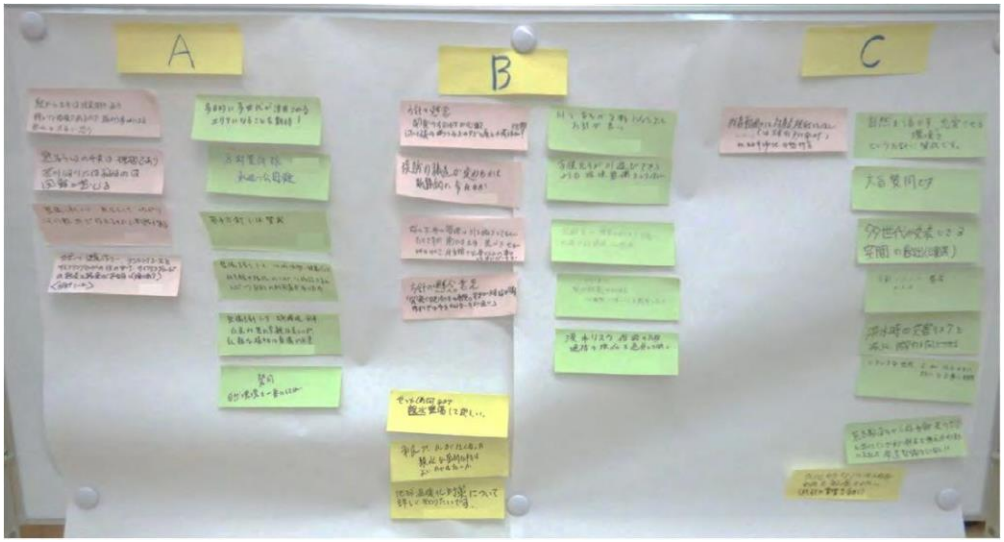
カード：【緑】賛同、【ピンク】懸念、【黄】その他
（18意見）　（9意見）　（4意見）

### 賛同・その他

○多世代・多目的
○親水施設の整備
○環境整備・配慮
○他計画との一体化
○防災力強化
○文化利用

### 懸念

○賑わいと環境悪化
○河川敷の熊谷らしさ
○堤防上の東屋
○サイクリングロード
○南口エリアの全計画への懸念
○堤防整備の時期
○範囲拡大（対岸）




## 方針2（範囲）、方針4（活用アイデア）

旗：【青】範囲、【黄】活用アイデア
【ピンク】範囲、活用アイデアの懸念






### A 班　【青】4意見、【黄】27意見、【ピンク】9意見

○坂路のアクセスが悪く、形状をV字からI字に変更した方が良い
○駐車出来る道路の拡幅、駐車場の整備、ルール作りをして欲しい
○木陰で休憩できる場所を作ってほしい
○範囲は対岸まで広げ、活用したらどうか
○熊谷駅南口の計画と一体感のある計画として欲しい
○命を守るシェルターや360°展望できる場を整備して欲しい
○堤防の盛土は川側に前出しして、桜並木を残して欲しい




### B 班　【青】4意見、【黄】12意見、【ピンク】3意見

○上下流（大麻生～久下）や南北（駅前～対岸）に整備範囲を広げてはどうか
○川の中の利用（手こぎボート等）を考えてほしい
○高水敷はスポーツ以外の利用もできるようにして、にぎわいを創出してほしい
○アクセス環境を良くしてほしい
○住環境にも配慮してほしい（騒がしいと困る）
○子どもたちのために、将来良かったと思える計画にしてほしい



### C 班　【青】0意見、【黄】11意見、【ピンク】6意見

○魚が住める河川にしてほしい
○川と触れ合う遊歩道など、川沿いに親水空間がほしい
○子供や子育て世代が遊べる親水広場、バーベキュー場がほしい
○立正大学の研究取組との連携、他プロジェクトとの連携が必要
○災害時のオープンスペース機能を維持する必要がある
○駐車場の整備や運用の工夫。坂路を広げてほしい（危ない）
○周辺の住環境には十分に配慮してほしいです

| | |
|---|---|
| **1. チェック・イン** | |
| 事務局 | ・開会の挨拶。 |
| ファシリテーター | ・アイスブレイク。 |
| **2. 情報共有その１（かわまちづくりの概要）** | |
| 事務局 | ・資料 1 をもとに、まちづくり計画の背景、市民アンケート結果を説明した。 |
| 事務局 | ・資料１をもとに、かわまちづくり基本方針（素案）と４つの論点を説明した。 |
| **3. 情報共有その２（事前ヒアリングの結果）** | |
| 事務局 | ・資料 2 をもとに、現地利用状況と事前ヒアリングで得た地域課題を説明した。 |
| 参加者 | ・高水敷とはどういう意味か。 |
| 事務局 | ・河川敷とほぼ同義である。常に水が流れている低水敷と、普段は水が流れておらずグラウンド等で利用されており、高水の時に水が流れる高水敷がある。 |
| 参加者 | ・熊谷市全体として、荒川のほかに利根川があるが、利根川についてどう考えているか。 |
| 参加者 | ・荒川はレジャーという観点が少ない。利根川の活用にも通ずることである。 |
| ファシリテーター | ・荒川のほかに利根川という視点とレジャーという視点がある。 |
| 事務局 | ・何かのきっかけに利根川とも一体となってまちづくりができる可能性はある。今回は熊谷駅南口のまちづくりの一環として動いている。<br>・こういうレジャーがあったら良いという提案をたくさんしていただきたい。 |
| ファシリテーター | ・レジャーについてはまさに今日この場で話し合う内容である。 |
| 事務局 | ・資料 2 をもとに、事前ヒアリングで得たかわまちづくりについての意見を説明した。 |
| 参加者 | ・ヒアリング対象者はどのような人か。 |
| 事務局 | ・熊谷市商工会議所、青年会議所、福祉団体、環境団体、学校関係、スポーツ協会、地元自治会、公民館等である。 |
| 参加者 | ・キーパーソンは団体ではないのか。 |
| 事務局 | ・団体の代表者を通して数名集めていただいた。 |
| 参加者 | ・あくまでヒアリングの結果であり、ワークショップの中で検討するための参考にすれば良いのか。 |
| 事務局 | ・問題ない。 |

| | |
|---|---|
| 参加者 | ・数年前の台風で浸水したが、現況の堤防で考えるのか。また、再度台風が来た場合は浸水する想定で検討するのか。状況が変わることは想定していないのか。 |
| 事務局 | ・高水敷は浸水する前提である。高水敷に設置できるものは、洪水時に撤去できるもの等の制限がある。荒川の下流から高規格堤防の工事が始まっており、河川管理者と協議しながら、堤防の計画に合わせてかわまちづくり計画を進めていく。 |
| 参加者 | ・現在の堤防が大きくなる可能性もあることを含めて考えるのか。 |
| 事務局 | ・その理解で問題ない。 |
| 参加者 | ・体育館を新しくするという前提があるのか。 |
| 事務局 | ・体育館の建て替えや公園の再整備と合わせたまちづくりがきっかけであるが、かわまちづくり計画では河川敷を中心に、体育館の建て替えや公園の再整備をイメージして検討いただきたい。体育館と堤防をつなげたいという意見や堤防上に東屋が欲しいといった意見を国に伝えていきたい。川だけではなく、駅を含めたような大きいイメージを持った検討をしていただきたい。 |
| 参加者 | ・体育館を含めたかわまちづくり計画なのか。 |
| 事務局 | ・この場は体育館の議論をする場ではない。体育館の建て替えや熊谷駅南口のまちづくりをしていこうとしている。 |
| 参加者 | ・一体の計画にあるものなのか。 |
| 事務局 | ・その通りである。かわまちづくりは体育館の建て替え等を踏まえたまちづくりの計画の中の河川敷の利用を考えることを目的とする場である。 |
| 参加者 | ・つまり全体の一部を検討していただきたいという趣旨であるか。 |
| 事務局 | ・その通りである。 |
| ファシリテーター | ・方針、範囲、ゾーニング・主要機能配置、活動の展開の計 4 つが本かわまちづくりワークショップの論点である。体育館との調整は必要であると考える。 |
| **4. ワークショップ　1）個人で考える：意見カードを書こう！** | |
| ファシリテーター | ・論点 1：方針、論点 2：範囲、論点 4：活動・活用のアイデアについての意見を書いていただく。 |
| **2）全体で確認：論点１（方針）への意見カード** | |
| ファシリテーター | ・論点 1 に関して、【緑】素案に賛同、【ピンク】素案に懸念、【黄】その他の意見をいただいた。いただいた意見を表 1 に示す。 |
| アドバイザー | ・親水性に関する意見を多くいただいた。他にも下記のようないただいた意見や懸念を踏まえ、協議会で議論し、良い方針を作っていきたい。<br>● いろいろな世代が交流できるものにしてほしい<br>● 開発ありきの計画ではなく良いものは残してほしい<br>● 今までの環境を考えてほしい |

| | |
|---|---|
| | ● 堤防整備との関連<br>● かわまちづくり計画と体育館、熊谷駅南口エリアの計画と一体的なものにしてほしい<br>● 対岸も範囲に含んだ方が良い |
| **3）グループで検討：論点２（範囲）、論点４（活動・活用）** | |
| | ・論点２、４に関して、【青】範囲の意見、【黄】活用アイデアの意見、【ピンク】範囲、活用アイデアの懸念をいただいた。いただいた意見を表 2 に示す。 |
| **4）グループ発表** | |
| テーブルファシリテーター | ・テーブル毎にいただいた意見の読み上げを行った。 |
| アドバイザー | ・対岸まで範囲に含めるという意見が出たが、場所が離れており、川を横断することを考慮すると実現可能であるか。上下流を含めるか等の範囲について協議会で議論する。また、たくさん意見をいただいたが、子供や子育て世代、暑さ対策、アクセスと駐車場等について協議会で議論する。 |
| ファシリテーター | ・かわまちづくり計画は参加型の計画である。成功の要件 1 つ目はいいものができる、計画合理性。2 つ目はいただいた意見が反映されている、意見反映性（色々な条件があって反映ができないものもある）。3 つ目は皆さんが納得している、手続き正当性である。 |
| **4. チェック・アウト** | |
| 事務局 | ・熊谷市 HP に掲載されている新市民体育館の位置 3 案に対し、A 案：熊谷駅からのアクセスを中心とする案、B 案：中心市街地から市役所通りを通るアクセスを中心とする案、C 案：A 案と B 案の両方を取り入れた案を事務局案 3 案として検討している。現状の坂路はくの字で河川敷内に入るが、狭くて鋭角であり危険である。そこで、河川敷内の駐車場を一つの目的地として、上流から下流に向かって坂路を設置する案としている。坂路の幅や角度については国と調整中であるが、第 2 回ワークショップで坂路に関する意見をいただきたい。 |
| 事務局 | ・閉会の挨拶。 |
| 事務局 | ・次回ワークショップは 8 月 31 日(土)に荒川公民館での開催を予定している。時間帯は参加者の要望を踏まえ、午後とする。<br><br>以上 |

**表1　論点1(方針)について**

| 項目分類 | 参加者記述 |
|---|---|
| 賛同意見 | 多目的に多世代が活用されるエリアになることを期待！ |
| | 方針賛成OK水辺の公園希望 |
| | 基本方針には賛成 |
| | 整備方針1-2　地域振興、健康づくり<br>体育館や現況のスポーツ施設を含めスポーツ目的の利用者が多いため |
| | 整備方針1-3　自然環境、風景、山並み等の景観は美しいが、乱雑な植物は整備が必要 |
| | 賛同<br>自然環境を一番にしてほしい |
| | 川であそべる形になるような方針が良い |
| | 子供たちが川遊びできるような環境整備をしてほしい |
| | 高齢者や障害のある方も気軽に利用できる環境への配慮 |
| | 方針の賛同<br>駅⇔体育館⇔かわまち<br>この構想（一体として）を期待したい |
| | 浸水リスク低減のため堤防の強化を是非して欲しい |
| | 自然を活かす、環境を充実させるという方針に賛成です。 |
| | 大旨賛同です |
| | 多世代が交流できる空間の創出（公園等） |
| | 方針1-1、2、3　2-1、2　賛成 |
| | 洪水時の災害リスクを減らし、防災力を向上させる |
| | いろいろな世代、人が住みやすいまちになる事に期待 |
| | 熊谷駅南口から体育館荒川公園と共ににぎわい創出を考えかわまちに対して、歩道整備をしてほしい |
| 懸念意見 | 駅から土手は住宅街であり、静かな環境であるので、賑わう事による悪化を不安に思う。 |
| | 熊谷らしさの４点は、理想であり荒川河川には求めるのは困難と感じる |
| | 整備方針1-1　熊谷らしさ、つながり河川敷内で作れるものに制限がある。 |
| | スポーツ、健康作り・・・ランニングコースとサイクリングロードの住み分け、サイクリングロードの起点と終点が不明＝（曖昧？）方針1-2 |
| | 方針の懸念<br>開発の方向性が心配。河川課のつつみ上の東屋とか考え方が？心配 |
| | 堤防の構造が変わるかも<br>時期的に今なのか |
| | 桜の木等の管理は引き続きしてもらいたいですが、南口は土手、荒川でせまい地区なので、体育館や必要以上の事はしてほしくないです！ |
| | 方針の懸念意見<br>「開発（変更）有りきは危険。変更が必要な点は改善時。残すべきは手を加えない方が良い」 |
| | 対象範囲として対岸も検討してほしい（旧　大里村　江南町）<br>ex.駐車場他休憩所等 |
| その他意見 | せっかくの川なので親水整備してほしい |
| | 市民プールがなくなった<br>親水公園的な物はよいのではないか |
| | 地球温暖化対策について詳しく知りたいです。 |
| | 文化的な（コンサート利用）利用も配慮されたい。（機材の管理も含めて） |

表2-1　論点2(範囲)、論点4(活用アイデア)について（グループA）

| 項目分類 | 参加者意見 | 発言記録 |
|---|---|---|
| 範囲の意見 | 上流のソフトボール場から下流運動公園まで | – |
| | 河川敷内のエリアは適当な範囲では？ | ・ソフトボール場周辺の堤内地側の範囲はどうするか |
| | 親水として良好かも | ・熊谷南小学校付近は水に近づける |
| | 村岡緑地まで | 〔・水辺の公園が欲しい〕<br>〔・遊歩道の整備〕 |
| 活用アイデアの意見 | – | ・土手にベンチを設置（北海道の事例）<br>・ベンチの設置（スポーツ観戦）（花火大会（有料席）） |
| | – | ・周辺を保ちながらモラル・ルールづくり |
| | – | ・範囲が広いのではないか→一部から整備 |
| | 河川敷のグラウンドは利用スポーツ団体のヒアリングが必要 | 〔・現状土手沿いに駐車しており、ボールがぶつかったときにどうするか〕 |
| | | 〔・利用者に今のままで良いか、駐車場や運動広場をどのように変えてほしいかヒアリングしたらどうか〕 |
| | 駐車場のルール化 | ・駐車場のアクセス（一方通行・ルール） |
| | | ・駐車場一方通行→スピードを出す人が増えて危険<br>→段を設ける |
| | | 〔・渋滞が減る〕 |
| | | 〔・車椅子スポーツの利用者は河川敷駐車場を利用するのか〕 |
| | | 〔・イベント時やスポーツ利用時の駐車場有料化〕 |
| | シェルター　（9か所） | ・命を守ることが大切→シェルターの設置（学校・公園） |
| | ドッグランが欲しい | ・ドッグランは熊谷にはない |
| | | 〔・現状犬を放している人がいる〕 |
| | | ・ドッグランと駐車場の併用 |
| | アクセスが悪い | ・坂路のアクセスが悪い<br>・現状駅からぐるっと回る |
| | | ・もう1つ明確な坂路ががあるとよい |
| | | ・坂路の入口に標識をつくる |
| | | 〔・新しく坂路を作る際はスムーズに出入りできるように〕 |
| | 大木の日照を生かした整備（上流側） | 〔・犬の散歩やスポーツ利用者の保護者が利用〕 |
| | | 〔・風が強いので、建物を作ったら飛んでしまうので、木を活用〕 |
| | 大木があり日影が多いので整備（いきいき広場） | 〔・整備したらもっと使える〕 |
| | 360℃熊谷のけしきがたのしめる | ・360°見える場所 |
| | 駐車場確保のための道路拡大 | ・体育館前の道路は土日に路駐が多い |
| | | 〔・道路を残してほしい〕 |
| | 公園遊具の充実 | ・小学生の遊ぶ場所、遊具がない（荒川公園） |
| | 桜木小のとこの坂路はV字型をI字型に改めるべき | ・V字の坂路が大変 |
| | 木かげのある遊歩道 | ・河側の木陰が足りない |
| | 犬のアジリティ大会 | 〔・昔大会をやっていた〕 |
| | スポーツ活動の送迎、見学する保護者の憩いの場 | ・大会利用者、保護者の休憩場所<br>（キッチンカー、カフェ） |
| | 川遊び | 〔・親水の場所が欲しい〕 |
| | 桜並木をこわさないでほしい | – |
| | 土手の整備 | – |
| | 村岡緑地　橋かけて往来できるよう散歩コースとして | – |

※表記載の発言記録のうち、〔　〕内の意見概要は、会議後に意見記録をもとに追加したもの

表2-1　論点2(範囲)、論点4(活用アイデア)について（グループA）

| 項目分類 | 参加者意見 | 発言記録 |
|---|---|---|
| 範囲・活用アイデアの懸念意見 | 土手に盛土しないでほしい | ・堤内地側に土を盛るのは懸念 |
| | | 〔・暗くなる、桜が切られちゃう、土が流れてきたら危険〕 |
| | 土手と公園一体化危険 | - |
| | 荒川公園の木を切らない | - |
| | グランド利用者が使いにくくならないように | - |
| | エリア明確化（荒川公園南口整備との区分） | 〔・範囲の重複〕 |
| | | ・3つの計画の横の連携 |
| | 開発した時ハクビシンやタヌキが住宅街に来ないか | ・ハクビシンやたぬきが町の中に入ってくるので、木を切らずに生息場所を残してほしい |
| | 利用のための坂道の混雑 | 〔・桜木町側の坂路は開放時間が8:30～17:30と決まっているが、見晴町側の坂路は管理されておらず（常に開放）、混雑している〕 |
| | | 〔・桜祭りの時、桜木小側の駐車場が有料だからと、見晴側から入る人がいて機能していない〕 |
| | | 〔・桜木町側の斜路が狭い〕 |
| | | 〔・駐車場の雑草が繁茂していて危険〕 |
| | 駐車台数。駐車場への登板道の改善が必要 | 〔・体育館の駐車場は狭く、バスが駐車するとさらに駐車出来る台数が減る〕 |
| | | 〔・河川敷駐車場は雨の日に利用すると泥だらけになる〕 |
| | カフェなど作って桜を切らない | - |

※表記載の発言記録のうち、〔　〕内の意見概要は、会議後に意見記録をもとに追加したもの

表2-2　論点2(範囲)、論点4(活用アイデア)について（グループB）

| 項目分類 | 参加者意見 | 発言記録 |
|---|---|---|
| 範囲の意見 | 大麻生公園まで範囲を広げられないか？ | 開発途中の地域がある上流側 大麻生方面 |
| | | 【範囲】大麻生から久下まで広げた整備内容とする |
| | 駅前の活性化へ範囲をしぼってほしい | 〔住環境にお店が出来たりしてにぎわいが出てくると、静かで暮らしやすいまちという良さがなくなる可能性が高い〕 |
| | 東の久下橋まで草原をそのままにするのか | 【活用】自然を残した整備 |
| | | 〔草地をそのまま残しておいて良いのか〕 |
| | | 〔火事になる可能性がある〕 |
| | 村岡側も活気あふれる計画にしてほしい | 対岸も考慮した計画とする |
| | | 〔対岸との往来を考慮した計画としてほしい〕 |
| 活用アイデアの意見 | 小川町の？？川のようにフィッシングスポットが考えられないか？ | _ |
| | カヌーカヤック | - |
| | 駐車場のアクセス（道路）を広げる<br>片側1車で直線で通れる | 高水敷へのアクセス道路を整備してほしい |
| | | 駐車場も整備 |
| | バス停 | - |
| | サイクリングロードの整備（車用・分離） | 自転車専用道路の整備（安心、安全） |
| | ピクニック→トイレ・手洗い | ピクニックができる施設、場所としてほしい |
| | 飯能河原のような本流から引き込んだ浅瀬で親水ができるか | _ |
| | 手こぎボートが週末だけでも出たらいいな（荒川大橋下流は流れがゆるやかなので） | 計画区域は流れがゆるやかなため手こぎボートを利用できるようにしてほしい |
| | 若者たちのデートスポットになるような魅力的な場所へ期待 | 高水敷をデートに利用できるスポットにしてほしい |
| | | 〔スポーツする人は高水敷によく来るが、それ以外の人があまり来ないため、にぎわい創出のためデートスポットを設置するのはどうか〕 |
| | ロックフェスをしてほしい | 高水敷でのイベント（ロックフェス）を実施することで、にぎわいを創出 |
| | | 〔開催場所は右岸側でやると、騒音問題も左岸程ではなくなるのではないか〕 |
| | マルシェ | 〔6月ごろに仲間内でマルシェをやりたいと話していた。イベントが開催しやすい計画としてほしい〕 |
| | 河川敷エリア全般的に避暑地的な休けい場所とユニバーサルデザイン的なトイレを増やす | 〔高齢者等は土堤を超えることができないため、エスカレーターのような設備を作ってほしい〕 |
| | | 高齢化が進行しているため、空き家を利用して人を増やす取組 |
| | | 子どものために将来良かったと思える計画とする |
| 範囲・活用アイデアの懸念意見 | 車の往来で交通事故が心配 | 活用　車と人の動線を考えた整備 |
| | 慰霊塔をどうするのか？ | 慰霊塔の移設はどうするのか |
| | 周辺とのアクセスを確保して欲しい | 南からも北からも動線が確保されていないため、人が集まりづらい |
| | | 住環境ににぎわいがあると困る |

※表記載の発言記録のうち、〔　〕内の意見概要は、会議後に意見記録をもとに追加したもの

表2-3　論点2(範囲)、論点4(活用アイデア)について（グループC）

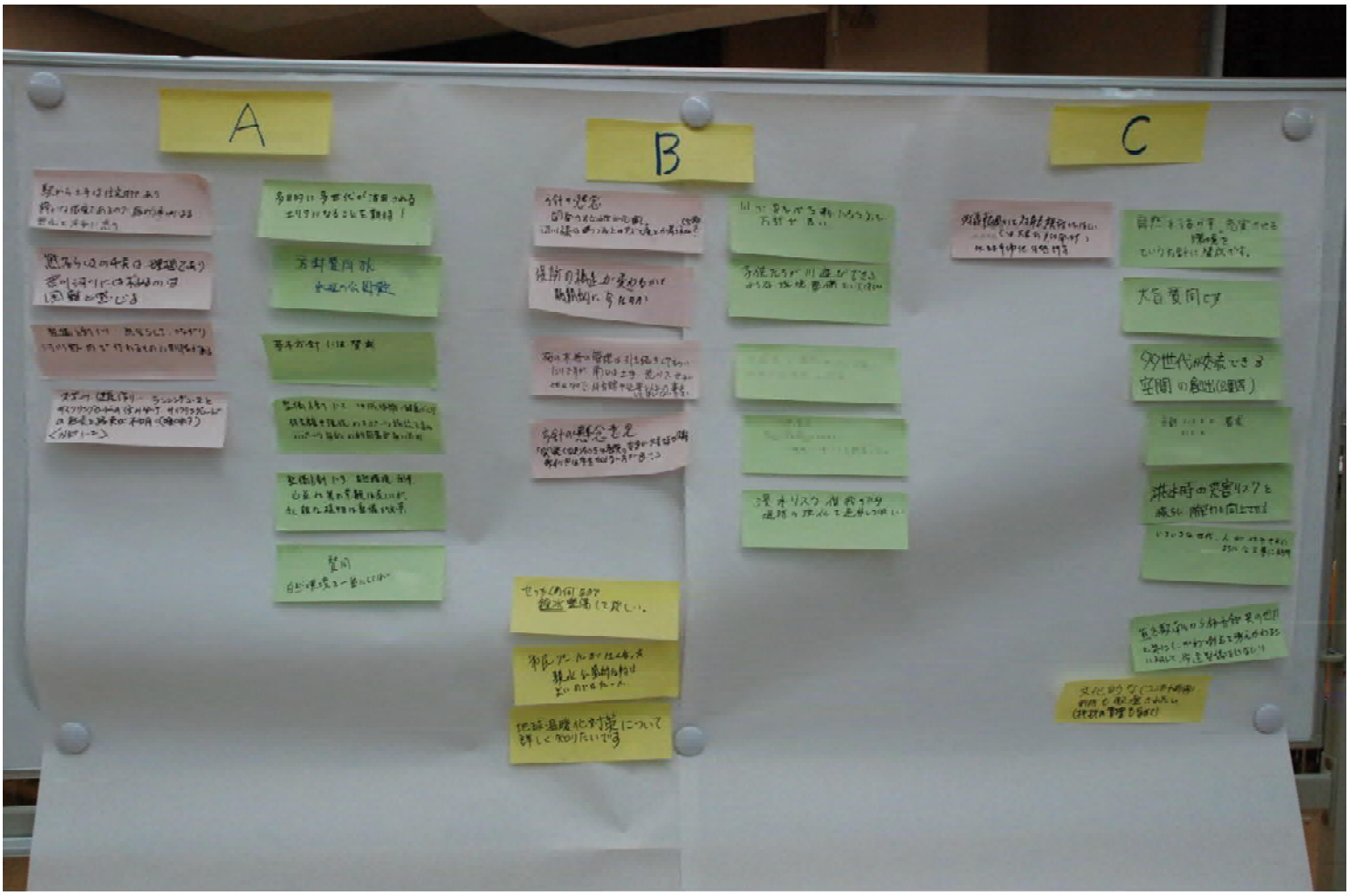
| 項目分類 | 参加者意見 | 発言記録 |
|---|---|---|
| 活用アイデアの意見 | ダッシュ　河川　漁取り | ･魚がすめる（とれる）河川、ダッシュ河川。水量が少なくなった？昔は泳げた。 |
| | | 〔・石を入れる等、魚が住める川にしてほしい。<br>昔（50年前くらい）は、魚が釣れ、泳げた。<br>今は泳いでいる人はいない。〕 |
| | | 〔・川が遠くなった。昔は土手を降りてすぐ川だった。〕 |
| | | 〔・水辺を歩くには歩道みたいな施設が必要。〕 |
| | 川とふれあう遊歩道をこのエリア約100Mの緑地に作る<br>  | ･河川に遊歩道、河岸に緑地（100m）をつくりたい。 |
| | | ･南口市街を散歩として利用。散歩コース利用していて、川が見えない。河川沿いに親水空間がほしい（左図参照） |
| | | 〔・この場所は森があり、遊歩道を作る場所としてとても良い。〕<br>〔・川沿いには散歩コースがあるけど、川が見えないのが致命的。〕<br>〔・全区間で作ると危ないので100mだけでも川を感じられる親水空間（遊歩道）ができると良い。〕 |
| | 親水広場が欲しいです | - |
| | | ･遊びの要素がない。河川とふれ合う空間 |
| | | 〔・川で遊ぶ要素を入れることが重要。遊びの要素がないとまちは活性化しない。〕 |
| | | ･ウォーキングできる場所があると良い<br>・レジャーできる様な水辺空間がほしい（カヌー等）<br>・子供が遊べる場所がほしい |
| | | 〔・釣りとか川のレジャー要素が重要。〕<br>〔・子供の頃、荒川でキャンプをして楽しかった。〕 |
| | 子育て世代が遊べる広場（特に公園） | ･子供がふれあえる親水スペースを整備してほしい |
| | | 〔・子育てしている世帯を考慮し、子供と触れ合える親水公園のようなスペースがあると良い。<br>今の荒川は川の流れが速く遊べない。〕 |
| | バーベキュー場を作ってほしい | ･嵐山にバーベキュー場の良い事例がある。<br>・市街からも人が集まる様な整備（堤内に管理所） |
| | | 〔・嵐山のバーベキュー場の事例を参考に、管理者の管理のもとであれば、荒川にもバーベキューができる場所があると良い。〕 |
| | | 〔・嵐山のバーベキュー場は、管理者の管理のもと運営されている。トイレもある。〕<br>〔・バーベキュー場にキャンプ場も併設されていると、人が集まるのではないか。〕<br>〔・バーベキューの洗い物は土手の外でやるなど、管理者の指示のもと、川を汚さないように、上手く運営されている。〕 |
| | | 〔・荒川大橋の下でも許可なしでバーベキューしている人がいる。今は禁止されている。〕 |
| | 立正大学との連携。まちなか | - |
| | 他プロジェクトとの連携によるまちづくり体系、作戦 | ・さいたま新都心の様に駅前、再開発と合わせた整備（他のプロジェクト）を参考にした整備を。 |
| | 駅から堤までペデストリアンデッキでつなぐ | ･熊谷市にペデストリアンデッキを。人が集まる川まちづくりを期待。 |
| | | ･高架橋で、アクセスする様な整備。地元住民への負担減る。イベント時は特に影響大きい |
| | | 〔・駅南の空き地をうまく活用して、川まで歩くペデストリアンでっきでつながると良い。〕 |
| | | 〔・多くの人が懸念しているのは、イベント時の混雑。<br>住環境の保全のためにも、動線が分離されていると良い。〕 |
| | | 〔・熊谷駅南口広場やロータリーの機能強化が必要。〕 |
| | 追加意見（災害時のオープンスペース機能の確保） | ・災害時のオープンスペース（雪置場・災害のが瓦礫）としても、貴重な空間である |
| | | 〔・かつて大雪の時の雪置き場に利用される等、災害時には瓦礫置き場等集積所となる。〕<br>〔・構造物の計画にあたっては、オープンスペースとしての災害時の利用に留意する必要がある。〕 |
| | ラグビーを観覧する場所がほしい | - |
| | 全体的に日影が増えて過ごしやすくなって欲しいです。 | - |

※表記載の発言記録のうち、〔　〕内の意見概要は、会議後に意見記録をもとに追加したもの

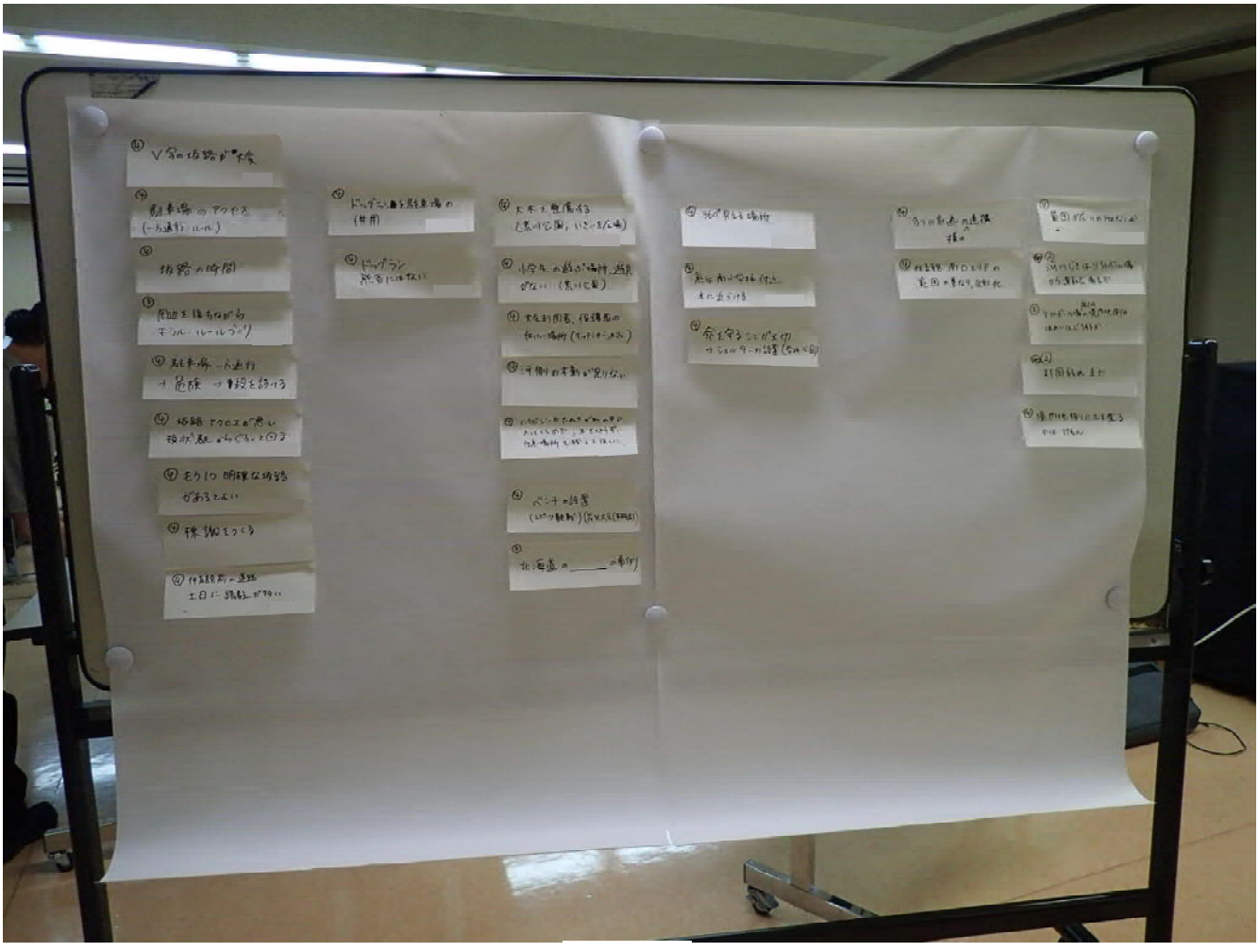
表2-3　論点2(範囲)、論点4(活用アイデア)について（グループC）

| 項目分類 | 参加者意見 | 発言記録 |
|---|---|---|
| 範囲・活用アイデアの懸念意見 | 坂路の拡張 | 〔・駐車場を整備する上でも坂路を拡張しないと危ない。〕 |
| | 坂路を拡張してほしい | 〔・バスが交互通行ができない。改善しないともったいない。〕 |
| | 体育館の立てかえ、荒川公園の木などがなくなってしまうのは嫌です | ・毎日、荒川堤防を散歩している。体育館立替で、公園環境が変わるのは心配<br>・いちょう木（荒川公園）を守ってほしい体育館改築で、壊れることは心配。 |
| | | 〔・今ある自然を壊してまで体育館をつくる価値があるのか疑問を感じている。ナンセンスだと感じる。<br>木も川も今ある熊谷の自然を活かすべき。〕 |
| | まちとの一体的な整備とのことですが周辺の住環境には十分な配慮をして欲しいです | - |
| | 坂路が少なく拡張してほしい | - |
| | 追加意見（駐車場整備） | ・駐車場を河川敷に設置（体育館） |
| | | 〔・駐車場がないと多くの人が集まれない〕 |
| | | 〔・レンタサイクルでアクセスする方法もある〕 |
| | | ・駐車場、河川敷のカギの管理。17時で締められる運用の改善。 |
| | | 〔・管理を柔軟に運用できないと、せっかくの駐車場施設もうまく機能しない。〕 |

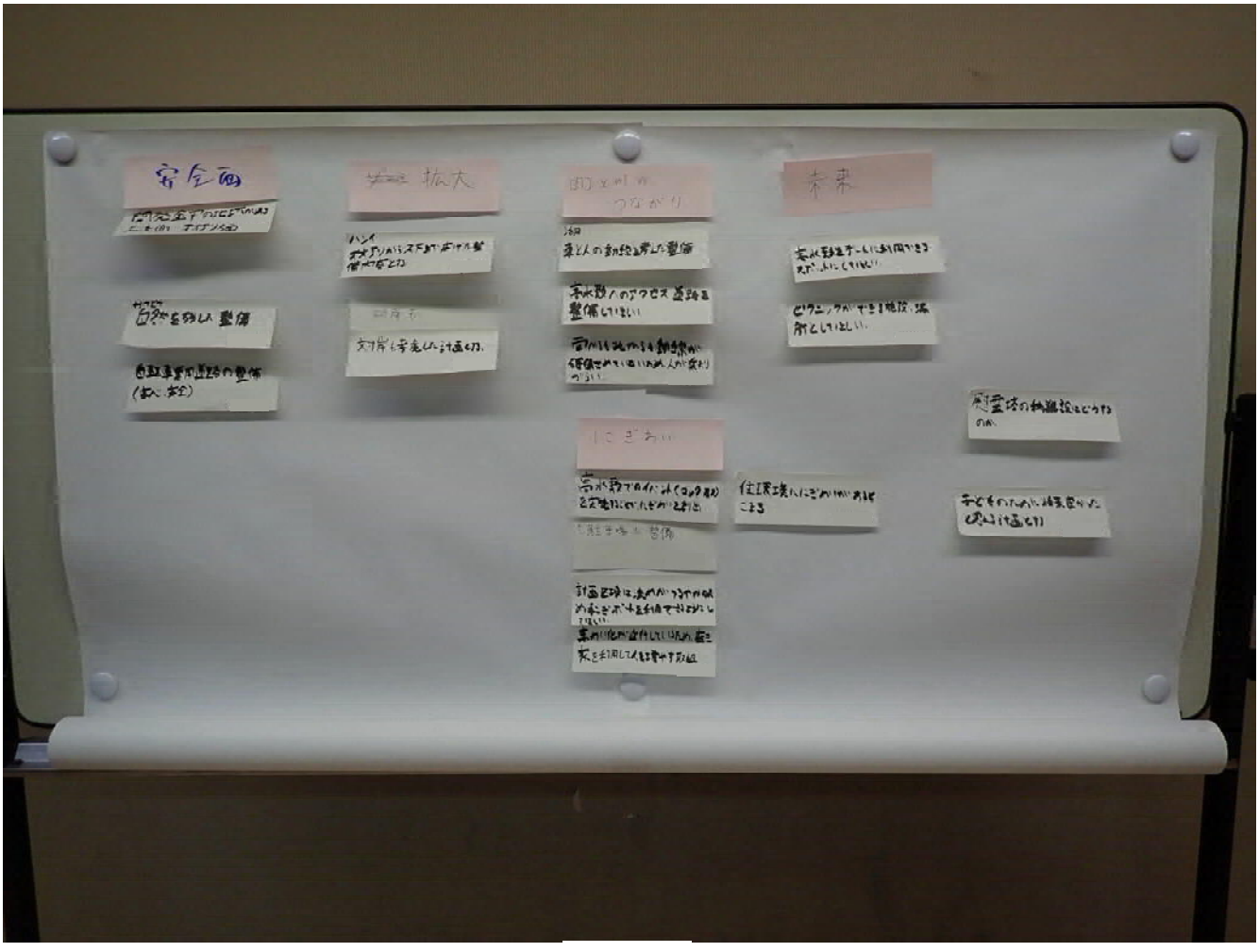
※表記載の発言記録のうち、〔　〕内の意見概要は、会議後に意見記録をもとに追加したもの


A
B
C
方針質問
99世代が交流できる
空間の創出(公園等)
地球温暖化対策について
詳しく知りたいです

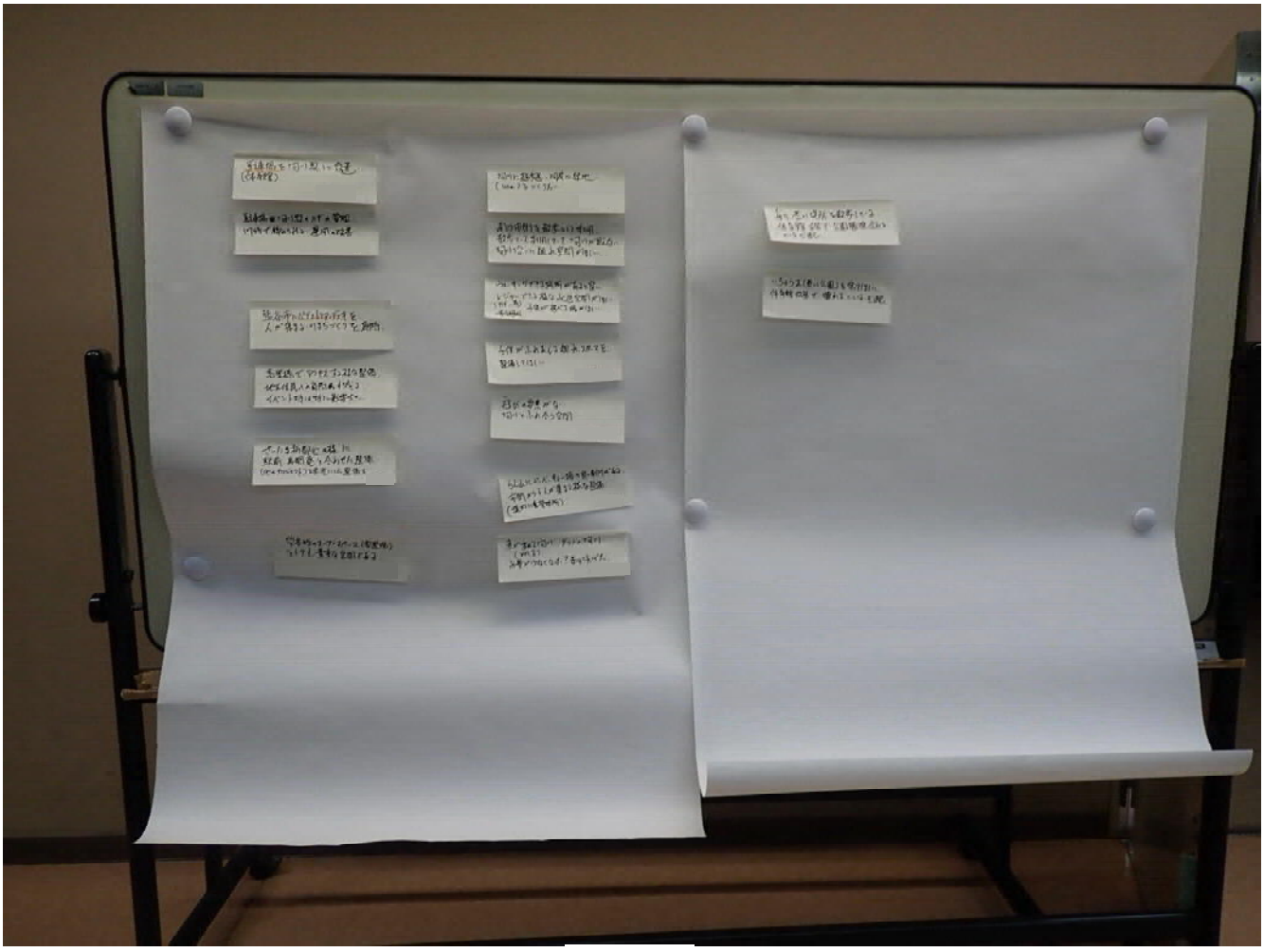

至熊谷スポーツ文化公園
熊谷駅
万吉弥大神公園
石田公園
至江南地域
武蔵丘陵森林公園
A
0
250
500
750
1,000 m

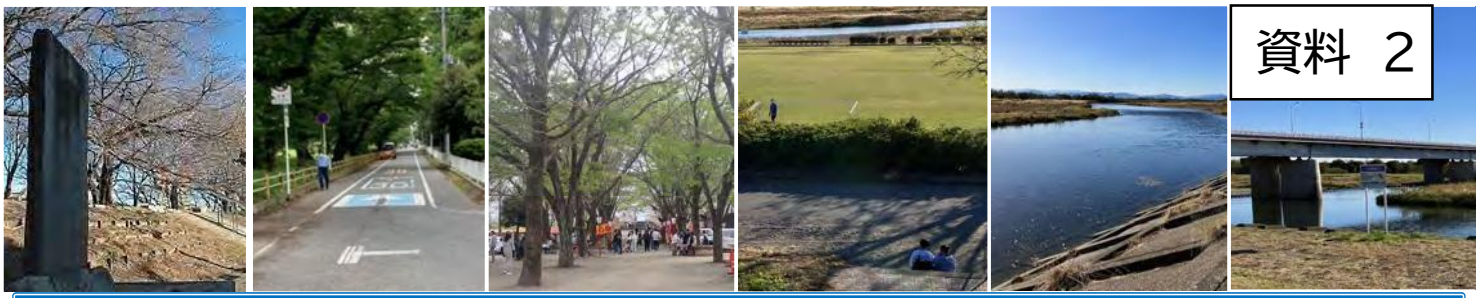



B
至 籠原駅（JR）
至 熊谷スポーツ
文化公園
至 行田駅
ソフトボール場
ソフトボール場
ソフトボール場
ソフトボール場
新堤地
荒川緑地
緑地自由広場
荒川緑地
荒川公園
駐車場
運動広場
運動広場
万吉弥大郎公園
石田公園
至 江南地域
武蔵丘陵森林公園
0
250
500
750
1,000 m


安全面
拡大
未来
にぎわい







資料　2

# 第2回熊谷市荒川かわまちづくり協議会
# 審議・質疑・意見交換



令和6年8月

熊谷市荒川かわまちづくりワークショップ　事務局

# 1） かわまちづくりの方針（案）　論点1

## ➢ 地域課題

… 追加項目（参考：別紙１）

**・課題１：熊谷らしさ（地域の魅力）の充実、情報発信、まちへの愛着の醸成**

地域資源を活かす（水辺の魅力、観光資源、自然環境、歴史文化）

**・課題２：都市拠点の魅力・活力の充実による定住促進、多様な人の交流拡大**

熊谷駅南口周辺には駐車場等の低未利用地が多く点在。

人口減少の更なる深刻化の抑制に向け、都市拠点としての必要な魅力（活力・教育・文化）、利便性（ユニバーサルデザイン）を備え、健康に暮らせるまちの環境整備の充実が必要。

周辺のまちづくり計画と連携を図ることが必要。

**・課題３：荒川の豊かな自然環境の保全と継承**

地球温暖化対策（「ゼロカーボンシティくまがや」の宣言への対応、暑さ対策）

荒川の自然環境の保全・創出・継承、自然環境保全の担い手確保

子どもたちが安全に荒川の自然環境と触れ合える空間の充実が必要

**・課題４：かわ・まち・駅空間の一体的な安全・安心まちづくり（ハード・ソフト）**

浸水リスク（浸水深0.85m 家屋倒壊等氾濫区域（想定最大規模））への対応。

気候変動の深刻化、高齢化や単身世帯の増加、地域コミュニティの希薄化に対応し、想定を超える災害への備えの充実、流域治水の取組推進、自助や共助の意識向上が必要。



# 1） かわまちづくりの方針（案）　論点1

## ➢ 熊谷市荒川かわまちづくりの目標・方針

地域と共創、地域の安全安心への寄与のもと、荒川の豊な自然環境の保全と継承に配慮し、スポーツや健康づくり、自然との触れ合いを通じた新たな交流が生まれることによる地域の活性化、熊谷らしさやつながりが感じられる空間創出と、地域の方々の日常利用の充実により、まちへの愛着の醸成、定住促進を目指します。

## ➢ 熊谷市荒川かわまちづくり方針

… 追加項目（参考：別紙１）

| 対応方針 | |
|---|---|
| **基本方針１**<br>**地域と共創**<br>地域との共創により、地域の魅力、愛着と誇りを育むかわまちづくりを目指します。<br><br>※課題1、2、3対応 | **整備方針1-1　熊谷らしさ、つながり**<br>・熊谷らしさ（水辺やまちの魅力、観光資源、自然環境、歴史文化）を活かし、地域の魅力を充実する空間づくりを目指します。<br>・子どもから大人まで多様な世代の人との出会いと交流を育む憩いの空間の創出を目指します。 |
| | **整備方針1-2　地域振興・健康づくり**<br>・荒川の自然の中で、誰もが自由にスポーツ（する・みる・ささえる）や健康づくりを楽しむ空間の創出を目指します。<br>・周辺まちづくり計画との連携やまちとのつながりを重視します。 |
| | **整備方針1-3　自然環境・風景**<br>・荒川と山並みによって創り出す美しい風景を守るとともに、生物多様性の保全や温室効果ガスの吸収等に寄与する都市空間における貴重な緑地・水辺空間である荒川の豊かな自然環境を保全・創出・継承します。<br>・未来を担う子どもたちが荒川の自然環境と触れ合える空間を充実し、自然環境を守り育てる担い手づくりを目指します。 |
| **基本方針２**<br>**安全・安心**<br>地域の安全・安心に寄与します。<br><br>※課題4対応 | **整備方針2-1　安全・安心**<br>・堤防整備（嵩上げ・拡幅・側帯盛土）により、洪水時の災害リスクを減らし地域の防災力を高めます。 |
| | **整備方針2-2　水害・災害学習**<br>・過去の水害の歴史、災害リスクを学習し、災害を自分事化し、地域の防災・減災対策を地域と行政が一体となって考え、取り組むことを目指します。 |

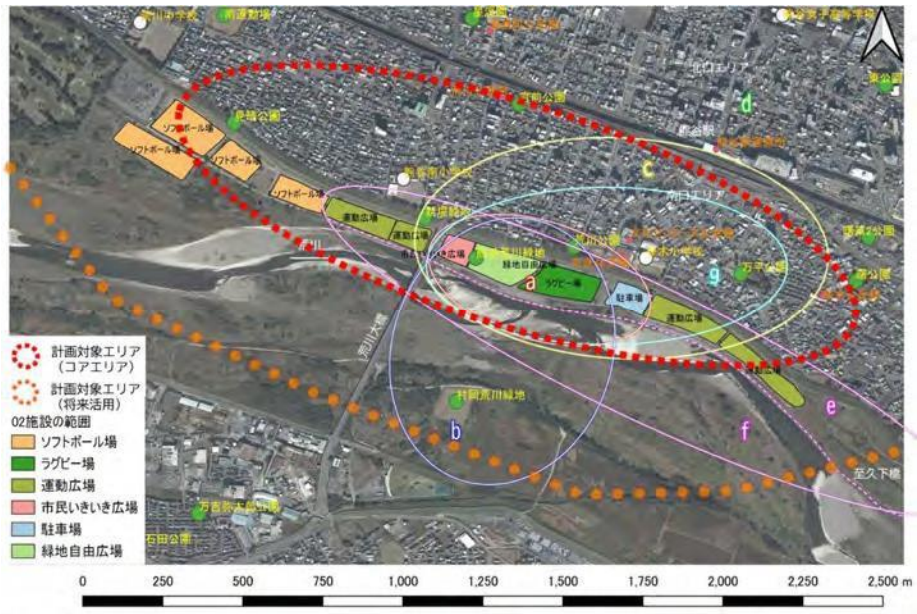
# 1） かわまちづくりの範囲（案）　論点2

## ➢ 計画対象エリア（前案）

・図中a～gは関係者ヒアリングで対象範囲に関する意見のあった場所を示しています。
・関係者へのヒアリングによる地域ニーズや実現性を踏まえ、コアエリアと将来活用エリアを設定しました。

| | | | |
|---|---|---|---|
| A-2 | 計画範囲 | ・現案（荒川大橋～グランド）がやりやすい範囲と考える | a |
| | | ・対岸（右岸）エリアを含めて整備する計画としてほしい | b |
| | | ・熊谷駅南口エリアのまちづくりとの連携が必要（荒川公園、新体育館、図書館、文化会館等） | c |
| | | ・駅からかわまちまでの歩行者動線が重要 | c |
| | | ・かわまち、南口エリア、北口エリアの一体化（歩行者動線）する視点が重要 | d |
| | | ・富士山の見える久下橋の方までつながった遊歩道、東屋、トイレ、水道等の休憩施設があると良い。 | e |
| | | ・荒川大橋から久下橋までの区間を舟下り等できたりすると良い | f |
| | | ・河川敷地内から万平公園までを含む範囲へ拡大してほしい。歩行者動線が整備されていると利用しやすい。 | g |

（参考資料「ヒアリング結果」かわまちづくりの意見）




**コアエリア**

複数の意見区分が重なるエリアで、当事業の核として位置付けるエリア

**将来連携エリア**

複数の意見を包括した範囲で、当事業の効果が様々なかたちで期待できるエリア



# 1） かわまちづくりの範囲（案）　論点2

## ➢ 計画対象エリア（案）

… 追加項目（参考：別紙２）

・図中a～gは関係者ヒアリングで対象範囲に関する意見のあった場所を示しています。
・関係者へのヒアリングや協議会、ワークショップによる地域ニーズや実現性を踏まえ、コアエリアと将来連携エリアを設定しました。

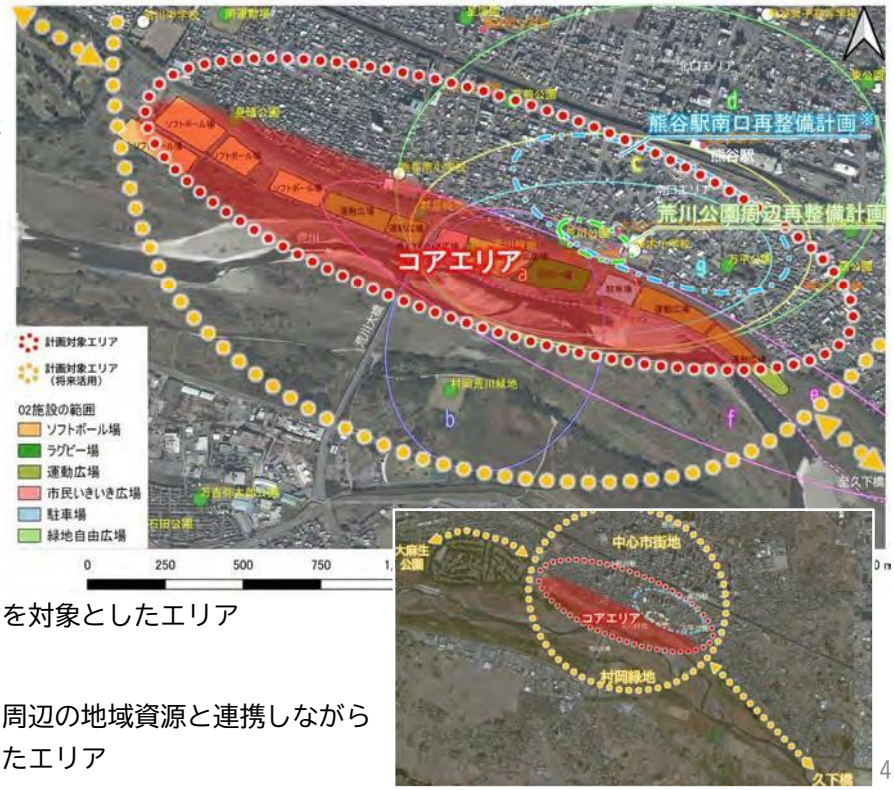
**計画対象エリア**

複数の意見区分が重なるエリアで、登録後５年間での実現を見込む計画として、荒川緑地と駅南口エリアのまちを含むエリア

※熊谷駅南口再整備計画の計画対象エリアは未定のため想定範囲を記載

| | | | |
|---|---|---|---|
| A-2 | 計画範囲 | ・現案（荒川大橋～グランド）がやりやすい範囲と考える | a |
| | | ・対岸（右岸）エリアを含めて整備する計画としてほしい | b |
| | | ・熊谷駅南口エリアのまちづくりとの連携が必要（荒川公園、新体育館、図書館、文化会館等） | c |
| | | ・駅からかわまちまでの歩行者動線が重要 | c |
| | | ・かわまち、南口エリア、北口エリアの一体化（歩行者動線）する視点が重要 | d |
| | | ・富士山の見える久下橋の方までつながった遊歩道、東屋、トイレ、水道等の休憩施設があると良い。 | e |
| | | ・荒川大橋から久下橋までの区間を舟下り等できたりすると良い | f |
| | | ・河川敷地内から万平公園までを含む範囲へ拡大してほしい。歩行者動線が整備されていると利用しやすい。 | g |

（参考資料「ヒアリング結果」かわまちづくりの意見）




**コアエリア**

計画対象エリアのうち、主に河川敷地内を対象としたエリア

**計画対象エリア（将来活用）**

複数の意見を包括した範囲で、将来的に川周辺の地域資源と連携しながら駅北の中心市街地や対岸の村岡側へ拡大したエリア

# 2） ゾーン設定と主要機能配置（事務局案）　論点3

## ➢ ゾーニングと機能設定

| 基本方針 | 整備方針 | ゾーン設定と各ゾーンの主要機能 |
|---|---|---|
| **基本方針1**<br>**地域と共創**<br>地域との共創により、地域の魅力、愛着と誇りを育むかわまちづくりを目指します。 | **整備方針1-1　熊谷らしさ、つながり**<br>・熊谷らしさ（水辺やまちの魅力、観光資源、自然環境、歴史文化）を活かし、地域の魅力を充実する空間づくりを目指します。<br>・子どもから大人まで多様な世代の人との出会いと交流を育む憩いの空間の創出を目指します。 | ■スポーツ健康文化交流ゾーン<br>スポーツ健康利用ゾーン<br>・荒川の自然や水辺の涼を身近に感じながら、誰もが自由にスポーツ（する・みる・ささえる）や健康づくりを楽しむ機能を充実します。<br>・地域交流や防災イベント等の多様なイベント開催を支援する機能を充実します。 |
| | **整備方針1-2　地域振興・健康づくり**<br>・荒川の自然の中で、誰もが自由にスポーツ（する・みる・ささえる）や健康づくりを楽しむ空間の創出を目指します。<br>・周辺まちづくり計画との連携やまちとのつながりを重視します。 | ■水辺の憩いゾーン<br>・水辺を眺め、安らぎや涼を感じられる水辺の憩いの機能を充実します。<br>・安全性や環境配慮に留意したアウトドアや健康づくりイベントなどを楽しむ親水機能を充実します。 |
| | **整備方針1-3　自然環境・風景**<br>・荒川と山並みによって創り出す美しい風景を守るとともに、生物多様性の保全や温室効果ガスの吸収等に寄与する都市空間における貴重な緑地・水辺空間である荒川の豊かな自然環境を保全・創出・継承します。<br>・未来を担う子供たちが荒川の自然環境と触れ合える空間を充実し、自然環境を守り育てる担い手づくりを目指します。 | ■自然環境保全・環境学習ゾーン<br>・荒川の豊かな自然環境・風景を守り、生物多様性を高める機能（多自然川づくり）を充実します。<br>・水辺の楽校など、子供たち等の地域の人が荒川を環境学習の場として活用する機能（安全な浅瀬・アクセス等）を充実します。 |
| **基本方針2**<br>**安全・安心**<br>地域の安全・安心に寄与します。 | **整備方針2-1　安全・安心**<br>・堤防整備（嵩上げ・拡幅・側帯盛土）により、洪水時の災害リスクを減らし地域の防災力を高めます。 | ■歴史文化体験ゾーン<br>・荒川とまちに関わる歴史文化の魅力の情報発信や往時に想いを馳せる空間・体験機会等を充実します。<br>（荒川の治水遺産（荒川西遷、旧熊谷堤）、舟運と中山道の歴史、浮世絵に描かれている中山道中の御狩屋の賑わい等） |
| | **整備方針2-2　水害・災害学習**<br>・過去の水害の歴史、災害リスクを学習し、災害を自分事化し、地域の防災・減災対策を地域と行政が一体となって考え、取り組むことを目指します。 |  |



# 2） ゾーン設定と主要機能配置（事務局案）　論点3

## ➢ ゾーニングと機能設定

（参考：別紙３）

・各ゾーンの配置は、現地の魅力（荒川緑地の施設、荒川の自然資源）、ワークショップ意見（下図の●表示箇所）を踏まえ設定しました。

・自然環境保全・環境学習ゾーンは、荒川特有の自然環境の魅力（れき河原の浅瀬や淵（ワンド））のある荒川大橋の上流付近に位置付けました。

・熊谷桜堤のエリアを基本に設定しています。計画対象エリア周辺の歴史資源（熊谷桜堤や旧熊谷堤、舟運、渡し、中山道）を活かし、熊谷らしさや、まちとかわのつながりを充実するエリアとして、今後、市民意見を踏まえながら、まち側を含めゾーン設定を広げていくことを検討します。




ゾーニング図

# 堤防・河川空間利活用の方向性：スポーツ健康文化交流ゾーン　論点４

**■スポーツ健康文化交流ゾーン・スポーツ健康利用ゾーン**
・誰もが自由に訪れることができ、荒川緑地のスポーツ利用、堤防道路の散歩やサイクリングロード、荒川で繋がる上下流の地域との連携、新市民体育館の取組みと連携し、荒川の自然や水辺の涼を感じながらスポーツや健康づくりを楽しみ、市内外の多様な世代の人との出会いと賑わい、交流を育む憩いの空間の創出を目指します（熊谷駅南口のまちづくりと連携し都市拠点の魅力・活力・利便性の充実）。
・「かわ」と「まち」の連携（歩行者や自転車動線の充実、イベント連携）により、かわまちエリアや新市民体育館で生まれる新たな賑わいを周辺のまちに繋げていくことを目指します。

| 役割 | 取組内容 | 場所 | 必要な整備・施設（案）　▒▒… 次年度以降検討 |
|---|---|---|---|
| ➢ 地域の安全安心に寄与する | ・堤防整備<br>・消防救急の緊急時用のヘリポート機能の充実<br>・荒川緑地（広域避難場所）の機能充実 | 堤防 | ・**堤防の嵩上げ、拡幅**<br>・ヘリポートに必要なオープンスペースを確保する。<br>・**堤防坂路の整備**（緊急車両のアクセス坂路・バリアフリースロープの確保） |
| ➢ 地域防災力を高める地域活動を支援する空間 | ・地域の防災活動を行うための環境整備など<br>（防災訓練、防災教育（災害リスクや過去の洪水、治水の歴史、流域治水に関する情報発信）） | 自由広場等 | ・防災活用に必要なオープンスペースの確保<br>・防災情報（災害リスク、過去の洪水、治水の歴史、流域治水等）を発信する**案内看板や洪水水位標等の設置** |
| | | 堤内地 | ・**防災倉庫**（新市民体育館内） |
| ➢ 荒川の自然・風景を楽しみながら気軽に健康づくりやスポーツを楽しむ空間（散歩、ランニング、サイクリング、地域スポーツ）<br>➢ スポーツ観戦やイベント開催による地域交流・賑わいの空間 | ・堤防道路の利用を充実する環境整備<br>・水辺、山並みの風景、桜堤の景観保全と魅力の充実<br>・花火大会や桜祭りの大規模イベントの安全な利用、魅力を高める環境整備 | 堤防 | ・堤防道路の散歩等を楽しむ**休憩所**（堤防の側帯を活用した眺望・ベンチ・東屋又は緑陰、サイクルラックの整備）<br>・**堤防坂路の整備**（バリアフリーのスロープの確保）（再掲）<br>・**歩行者と自転車の安全対策**（拡幅（幅員確保）、分離標示、ルール・マナーの周知活動、交通安全教室）<br>・大規模イベント時の安全な利用に配慮した**階段や堤防の拡幅・観覧席を兼ねる階段式護岸の整備**<br>・新市民体育館へのアプローチの整備 |
| | | 堤内地 | ・**休憩拠点・情報発信拠点・管理棟**（広場、キッチンカー設置スペースやカフェ（堤防と新市民体育館と連携）の整備） |
| ➢ 市内外の多様な人との出会いと交流を育む憩いの空間 | ・高水敷の利用を充実する環境整備<br>（アクセス、休憩や駐車施設、スポーツやイベント観覧施設の充実）<br>・スポーツイベントの開催（サイクルイベント・ノルディックウォーキングイベント、マラソン大会等）<br>・手ぶらで運動やアウトドアを楽しむサービスの充実<br>・民間占用による公園機能の充実拡大 | 自由広場<br>グランド等 | ・**堤防坂路の整備**（バリアフリースロープの確保）<br>・**トイレやベンチ（緑陰、東屋）、サイクルラック、駐車場の整備** |
| | | いきいき広場 | ・木陰を活かした公園機能を充実する公共サービスの提供（チェア、ハンモック、ターフ・運動具等の貸出サービス）、飲食を提供するキッチンカーの誘致と必要設備の整備とスペースの確保）<br>・公園機能を充実する民間占用の誘致（例. バーベキュー場、ドッグラン） |
| | ・「駅」と「かわ」、「かわ」と「まち」の移動を安全、快適、楽しむアクセス環境の整備 | 周辺道路 | ・自動車、自転車、歩行者の**動線計画**<br>・自動車交通量の増加や駐車需要の増加に対応した**周辺道路の交通環境の整備**（道路・駐車場）<br>・熊谷駅南口から新市民体育館前を通り、**荒川にアクセスする歩行者動線の整備**（人中心のウォーカブルな空間整備、シェアモビリティ、楽しむ移動） |


# 堤防・河川空間利活用の方向性：スポーツ健康文化交流ゾーン　論点４


### 地域の安全・安心に寄与する


【水防訓練の実施
（熊谷市荒川緑地）】


【防災について学ぶ
イベント開催】


【緊急ヘリポート（荒川）】

### アクセスを安全・快適・便利に


【バリアフリーのスロープ
の整備（多摩川）】


【歩行者・自転車の安全対策
（歩車道分離表示（千曲川））】

### 大規模イベント・スポーツ観戦時の安全対策の充実



【熊谷花火大会の利用状況（2023年）】


【花火大会観覧やスポーツ観戦の安全な利用に配慮した階段護岸の整備】
（聖蹟桜が丘かわまちづくり(多摩川)）


【駐車需要増加に対応した
駐車場・坂路の整備（相模川）】



【新市民体育館へのアプローチ
（千代田地区かわまちづくり(芦田川)）】

### 健康づくりを楽しむ（散歩・サイクリング）


【堤防道路の利用の充実（堤防
側帯を活用した遊歩道と東屋）】


【誰もが快適・安心して
利用できるトイレの整備】

### 地域のスポーツ活動・スポーツイベントを便利に


【熊谷さくらマラソン大会】


【地域のスポーツチームの
練習・予選・大会・】

### 眺望・景観を楽しむ



【堤防道路の魅力
（秩父の山々を望む風景、桜堤の景観）】

### イベントやスポーツを観る・健康づくりを楽しむ


【スポーツイベントの開催（タグラグビー教室）】

# 堤防・河川空間利活用の方向性：水辺の憩いゾーン　論点４

**■水辺の憩いゾーン**
・誰もが訪れることができ、水辺を眺め、安らぎや涼を感じられる憩いの空間とするとともに、安全性や環境配慮に留意したアウトドアや健康づくりイベントなどを楽しめる空間とします。

| 役割 | 取組内容 | 場所 | 必要な整備・施設（案）　…次年度以降検討 |
|---|---|---|---|
| ➢ 地域防災力を高める地域活動を支援する空間 | ・地域の防災活動を行うための環境整備など（防災訓練、防災教育（災害リスクや過去の洪水、治水の歴史、流域治水に関する情報発信）、川の安全体験教室） | 水辺<br>低水護岸 | ・水辺への安全なアプローチの整備（階段式護岸・スロープ等） |
| ➢ 荒川の水辺を眺め・やすらぎや涼を感じられる憩いの空間<br>➢ 安全性や環境配慮に留意したアウトドアや健康づくりを楽しむ空間 | ・水辺の眺望や夏場の涼を楽しむ水際の環境整備<br>・水辺のアウトドア（釣り・SUP等）の環境の整備（アクセス等）<br>・水辺の涼を感じながら楽しむイベント等の開催（ウォーキングイベント・SUPのリバーレース等） | 水辺<br>低水護岸 | ・治水、環境、安全性に配慮した親水護岸や水辺の散策路の整備 |



【水辺に親しむ親水護岸と水辺の芝生（多摩川）】


【水辺の散策路の整備（大和川）】



【水辺のウォーキングイベントの開催】



# 堤防・河川空間利活用の方向性：自然環境保全・環境学習ゾーン 論点４

**■自然環境保全・環境学習ゾーン**
・身近な自然の保全・生物多様性を高める空間とします。
・隣接する小学校と連携し、水辺の楽校など荒川を環境学習の場として活用することにより、未来を担う子どもたちが身近に自然と触れ合う機会を充実し、将来の環境を守り育てる担い手づくりを目指す空間とします。
●荒川を自然回廊とする豊かな自然環境の保全と継承
●コアジサシ等の生息場となる荒川中流域固有の礫河原の自然生息環境の保全

| 役割 | 取組内容 | 場所 | 必要な整備・施設（案）　…次年度以降検討 |
|---|---|---|---|
| ➢ 身近な自然の保全・生物多様性を高める空間 | ・荒川中流域の自然環境の特性を踏まえた、生物多様性を高める空間整備、維持管理活動の充実 | 水辺 | ・多自然川づくり（護岸の覆土、かご工、捨石など） |
| ➢ 地域の自然環境学習を充実する空間<br>➢ 将来の環境を守り育て入る担い手づくり | ・自然環境の保全に配慮し、子供たちが安心して自然と触れ合える水辺空間の整備<br>・自然学習イベントの開催（生き物調査、水質調査等）<br>・地域の環境保全活動の開催（荒川の清掃等） | 水辺 | ・現況の浅瀬やワンドへのアプローチの整備<br>・自然環境の保全に配慮した必要最小限度の踏み分け程度の水辺への散策路 |


【環境学習（生きもの調査・水質調べ等）水辺の楽校（阿武隈川）】


【多自然護岸（覆土・カゴ工・捨石など）】


【必要最小限度の踏み分け道程度の散策路（多摩川）】


【野鳥観察】


【荒川の清掃イベント開催】
（くまかんれん　ウェブサイトより）


【流域の市民活動による清掃活動（菅生川を美しくする会）】


【近隣学校の校外学習利用（植物・昆虫採取・観察）】

# 堤防・河川空間利活用の方向性：歴史文化体験ゾーン　論点４

**■歴史体験ゾーン**
・地域との共創により、周辺の地域資源を活かし、熊谷らしさ（水辺やまちの魅力、荒川と熊谷のまちとの関わりの歴史文化）や、人とのつながりを大切にする空間づくりにより、熊谷市への愛着と誇りを育むことを目指します。
・過去の水害の歴史、災害リスクを学習し、災害を自分事化し、地域の防災・減災対策を地域と行政が一体となって考え、取り組むことを目指します。
●荒川の洪水から熊谷のまちを守ってきた治水遺産（西遷、旧熊谷堤）
●まちの発展を支えてきた荒川の舟運と中山道の歴史
●浮世絵に描かれている中山道中の御狩屋の賑わい（休憩、来訪者との交流）

| 役割 | 取組内容 | 場所 | 必要な整備・施設（案）　■… 次年度以降検討 |
|---|---|---|---|
| ➢ 熊谷らしさや人とのつながりを大切にする空間づくりにより、熊谷市への愛着と誇りを育む空間 | ・計画地周辺の中山道等の歴史文化の見どころを繋ぎ、「かわ」と「まち」を繋ぐ回遊ルートの整備<br>・SNSを用いた「かわ」と「まち」をつなぐ情報発信<br>・歴史体験イベントの開催<br>例. 村岡の渡しや久下の渡し地域の原風景に思いを馳せるイベントや、旧中山道沿いの史跡をめぐるスタンプラリーイベントの開催 | 堤内地（熊谷駅周辺） | ・旧熊谷堤や中山道の歴史を活かした、**「かわ」と「まち」を繋ぐ動線計画**<br>・旧熊谷堤や中山道の歴史を活かした、**「かわ」と「まち」を繋ぐ動線整備**（バリアフリー・見どころ）<br>・歴史文化の見どころを繋ぐ**回遊ルート、フットパスの整備**<br>・回遊ルートの位置、周辺の見どころを解説する**案内看板、フットサインの整備**（桜堤、旧熊谷堤など）<br>・浮世絵に描かれる往時のみかりやの賑わいや、荒川の現風景に想いを馳せる新たな**休憩拠点の整備**（新市民体育館との連携） |
| ➢ 過去の水害の歴史や、治水遺産を学び、災害を自分事化する空間 | ・治水の歴史を学習・体験するイベントの開催（荒川の西遷、旧熊谷堤・石祠（水運の安全祈願））<br>・流域治水（上下流の自治体連携）を学習・体験するイベントの開催 | 自由広場等のオープンスペース | ・過去の水害の歴史や、治水遺産を解説する**案内看板の設置等** |



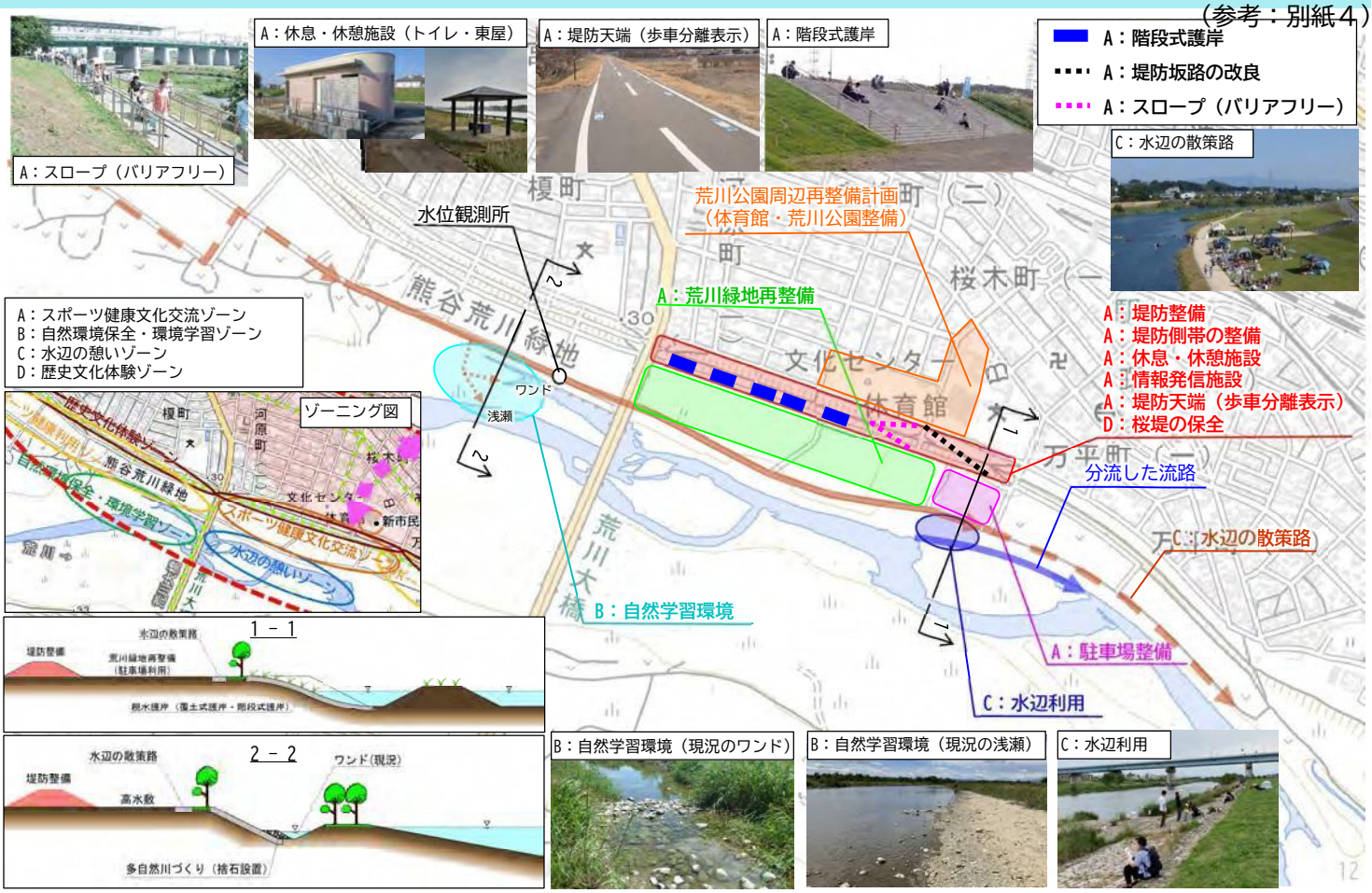



【歴史資源を活かしたかわとまちを繋ぐ回遊動線計画、案内看板（桜堤、旧熊谷堤など）】

11

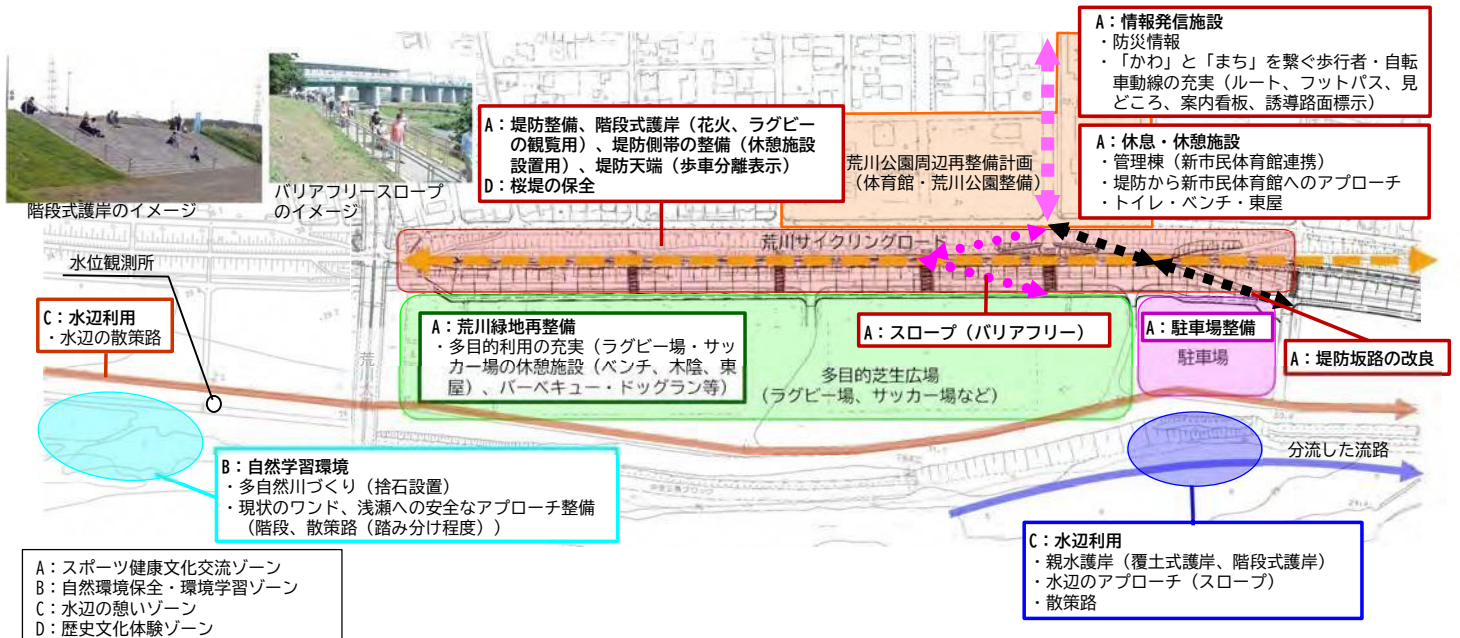
# 3）かわまちづくり計画（ハード・ソフト施策）（事務局案）　論点４

（参考：別紙４）




# 3）かわまちづくり計画（拠点整備）　論点４

・隣接する堤内地の荒川公園再整備（新市民体育館）の整備を契機として、**堤防整備**や防災活動の充実による地域の防災力を高めるとともに、荒川の自然環境や地域資源である桜堤の保全に配慮し、堤防の機能を充実し、河川空間利用の多様性を高めます（**階段式護岸、堤防側帯の整備、堤防天端（歩車分離表示）、桜堤の保全・擁壁工事、休憩施設（トイレ、ベンチ・東屋）、バリアフリーのスロープ、堤防坂路の改良（自動車・緊急車両用）等**）。
・また、新市民体育館の新たな賑わい拠点と、河川空間内のグランドや荒川の水辺の憩いの空間（親水）、堤防上のサイクリングロードが一体となって、市のスポーツ・文化・健康拠点機能を充実する**休憩拠点整備（デッキスペースと堤防からのアプローチ・カフェ等）**やイベント開催の魅力を高めます。
・荒川大橋上流では、身近に残る荒川の豊かな自然環境を守り、生物多様性の充実を目指す**環境整備（多自然川づくり）**とともに、市民や流域連携による環境活動や将来の環境保全の担い手を育む空間として、地域や小学校の**自然環境学習や自然体験活動を安全に行うための環境整備（階段・散策路の整備）**を行います。
・「かわ」と「まち」を繋ぐ仕掛け（**歩行者・自転車動線の充実を目的とした情報発信施設（ルート、フットパス、見どころ、案内看板、誘導路面標示）**、イベント連携）により、かわまちエリアや新市民体育館で生まれる新たな賑わいを周辺のまちに繋げていくことを目指します。



# 4）社会実験企画　目的

➢ **社会実験の目的**　**ハード･ソフト施策(案)を場所と期間を限定して試してみる**

**（今年度の目的）**

**目的１：かわまちづくり計画への期待や、施策（案）のニーズの確認**

かわまちづくりへの期待、ニーズの確認、ハード・ソフト施策（案）の満足度の確認
多様な関係者・利用者間の相互理解の醸成やかわまちづくり計画への合意形成

**目的２：ハード・ソフト施策の実施上の問題点や課題の確認**

検討段階では気づかなかった問題点や課題の確認、解決策の見出し

**目的３：社会実験イベント→荒川の河川空間の魅力、かわまちづくりの取組の情報発信**

荒川の多様な魅力（広いオープンスペース、水辺の自然環境、眺望・風景）の情報発信

**（参考　今年度の結果を踏まえ、次年度以降の取組）**

**目的４：利活用主体（プレイヤー）の発掘、コミュニティづくり**

コミュニティ形成のきっかけとして、将来の河川の利活用を実践するプレイヤーの交流機会をつくることによる地域の活動体制づくりを支援します。
不定期な利活用イベントの開催→定期的な利活用→利活用の定着



# 4）社会実験企画　実施時期

➢ **社会実験の実施時期**

論点１：方針
論点２：範囲
論点３：ゾーン・主要機能配置
論点４：活動

**現地視察**
・地域の魅力探し
・地域課題の共有

**5月28日**
**第1回協議会**
・組織の設置
・情報の共有（背景、地域ニーズ、かわまちづくり、論点案）
●論点１、２ 検討①
・今後の進め方について

**8月8日**
**第2回協議会**
●論点１、２ 審議
・論点３、４ 検討①
・社会実験 検討①

**11月下旬**
**第3回協議会**
●論点３ 審議
●論点４ 検討②、審議
・かわまち申請案 検討①

**R7.4月中旬**
**第4回協議会**
●論点１～４ 決定
●かわまち申請案 決定

**【地域意見の確認の場】**

**7月6日**
**第1回ワークショップ**
●論点１、２、４ 検討❶

**8月31日**
**第2回ワークショップ**
・論点１、２ 確認
●論点３ 検討❶
●論点４ 検討❷
●社会実験 検討❶(計画)

**10月上旬**
**社会実験等実施**

**11月上旬**
**第3回ワークショップ**
●論点４ 検討❸
●社会実験 検討❷（評価）
●かわまち申請案 検討❶

パブリックコメント等の実施

# 4）社会実験企画　取組メニュー（事務局案）（全体）

➢ 社会実験の取組内容と調査項目（事務局案）（実施時期　令和6年10月上旬　土曜日又は日曜日（予定））

| ゾーン区分 | 実施メニュー（案）<br>（今後変更の可能性があります） | 堤防道路 | 自由広場 | いきいき広場 | ラグビー場 | 水辺 | 対象 | 調査項目案 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| スポーツ健康文化交流ゾーン | **1.ハード施策：休憩スペースの試行**（ベンチ・テーブル・タープ（日影）を設置） | ○ | ○ | | | | ・誰でも | ・利用状況調査<br>・アンケート調査 |
| | **2.ソフト施策：多世代交流、スポーツや健康づくりを楽しむイベント試行**<br>（タグラグビー教室、市民体育館や自治会の健康づくりイベント連携） | | | ○ | ○ | | ・スポーツイベント内容による（事前募集） | ・参加人数<br>・アンケート調査 |
| | **3.ソフト施策：子育てや交流を楽しむイベントの試行**<br>（手ぶらでスポーツ・健康づくり、手ぶらでピクニックを支援する運動遊具、イス、シート等の貸し出し） | | ○ | ○ | | | ・誰でも | ・利用状況調査<br>・アンケート調査 |
| 自然環境保全・環境学習ゾーン | **4.荒川の自然の魅力・恵を学ぶ・楽しむ　体験イベントの試行**<br>“自然体験学習会　荒川の水辺の生き物を見つけよう！” | | | | | ○<br>荒川大橋上流の水辺 | ・親子（小学3年生以上と保護者（事前募集） | ・参加人数<br>・アンケート調査 |

■得られる結果のイメージ
①社会実験への感想
②試行したハード・ソフト施策（案）に対する意見（満足度・課題）
③かわまちづくり計画（案）に対する意見
④利活用やアクティビティ、河川管理（維持管理）や自然環境保全活動への参加意向
⑤利用者の属性、現状の利用頻度等

16

# 4）社会実験企画　取組メニュー（事務局案）（ゾーン別）

➢ 社会実験メニュー（事務局案）スポーツ健康文化交流ゾーン　（今後変更の可能性があります）

## 1. 休憩スペースの試行

堤防上や自由広場に休憩スペースを作ってみる


休憩スペース（堤防道路）


休憩スペース（自由広場）

## 2. 多世代交流、スポーツや健康づくりを楽しむ


【スポーツイベントの開催】
（タグラグビー教室）


【市民体育館や自治会の健康づくりイベントとの連携】




※自由広場へのバリアフリーアクセスを確保
（簡易段差処理）

## 3. 子育てや交流を楽しむ





【手ぶらで楽しむピクニック、手ぶらで楽しむスポーツ】
・スポーツ遊具等の貸し出し（大なわ、ボール、タグラグビーボール、ペタンク、モルック、ピクニックシート、イスなど）
※誰でも、多世代交流を考慮

17

# 4）社会実験企画　取組メニュー（事務局案）（ゾーン別）

## ➢ 社会実験メニュー（事務局案）自然環境保全・環境学習ゾーン

### 4. 荒川の自然の魅力・恵を学ぶ・楽しむ　体験イベントの試行
### “自然体験学習会　荒川の水辺の生き物を見つけよう！”

●対象：小学生（3年生以上）と保護者
●目的：
　荒川河川敷での生き物採集（主に魚と底生動物）を通して、生息魚種の種類や生息環境、重要種や外来種の生態特性を学習し、生物多様性の重要性を認識してもらう。
　また、荒川における多自然川づくりやこのような自然体験学習が、荒川に生息する生物の生息環境を回復軌道に乗せる（ネイチャーポジティブ）ための大切な取り組みであることを意識させる。
（荒川の自然を育む応援隊（担い手）の育成）









コアジサシ、チュウサギを目視確認
ヒバリの鳴声を確認



# 4）社会実験企画　取組メニュー（事務局案）（ゾーン別）

## ➢ 社会実験メニュー（事務局案）自然環境保全・環境学習ゾーン

河川水辺の国勢調査（魚類は最新が2020年、底生動物は2019年に実施）
表：荒川大橋の下流、「久下橋」での夏季出現種

| | 魚類 |
|---|---|
| 1 | アユ |
| 2 | ニゴイ |
| 3 | ウグイ |
| 4 | オイカワ |
| 5 | ギンブナ |
| 6 | ムサシノジュズカケハゼ |
| 7 | ヌマチチブ |
| 8 | ヨシノボリ属の一種 |
| 9 | カマツカ |
| 10 | コイ（飼育型） |
| 11 | ヒガシシマドジョウ |
| 12 | モツゴ |
| 13 | アブラハヤ |
| 14 | ナマズ |
| 15 | ドジョウ |
| 16 | タモロコ |
| 17 | カムルチー |
| 18 | ソウギョ |

| | 底生動物 |
|---|---|
| 1 | ヒメシロカゲロウ属の一種 |
| 2 | アカマダラカゲロウ |
| 3 | エラブタマダラカゲロウ |
| 4 | サホコカゲロウ |
| 5 | フタモンコカゲロウ |
| 6 | ウスイロフトヒゲコカゲロウ |
| 7 | クロフトヒゲコカゲロウ |
| 8 | Dコカゲロウ |
| 9 | ヒメウスバコカゲロウ属の一種 |
| 10 | ウデマガリコカゲロウ |
| 11 | シロタニガワカゲロウ |
| 12 | タニガワカゲロウ属の一種 |
| 13 | ハグロトンボ |
| 14 | コオニヤンマ |
| 15 | オオヤマカワゲラ |
| 16 | アメンボ |
| 17 | カタビロアメンボ科 |
| 18 | ナベブタムシ |

| | |
|---|---|
| 19 | ヒゲナガカワトビケラ |
| 20 | ヒゲナガガガンボ属の一種 |
| 21 | トラフユスリカ属の一種 |
| 22 | ツヤユスリカ属の一種 |
| 23 | カマガタユスリカ属の一種 |
| 24 | フタエユスリカ |
| 25 | ツヤムネユスリカ属の一種 |
| 26 | ハモンユスリカ属の一種 |
| 27 | アシマダラユスリカ属の一種 |
| 28 | ヒゲユスリカ属の一種 |
| 29 | ニセテンマクエリユスリカ属の一種 |
| 30 | ユスリカ科 |
| 31 | キベリマメゲンゴロウ |
| 32 | キスジミゾドロムシ |
| 33 | ツヤドロムシ属の一種 |
| 34 | ミズミミズ属の一種 |
| 35 | ヨコレミズミミズ |
| 36 | オオシロカゲロウ |
| 37 | コカゲロウ科 |



資料 3

# 熊谷市荒川かわまちづくり計画　想定作業スケジュール（イメージ）

| 時期 | 開催名 | 検討内容 |
|---|---|---|
| R6 年 5 月 28 日 | 第 1 回協議会 | ・組織の設置　・情報の共有（背景、地域ニーズ、かわまちづくり、論点案）<br>・論点１（方針）、論点２（範囲）の検討　・今後の進め方について |
| R6 年 8 月 8 日（本日） | 第 2 回協議会 | ・論点１（方針）、論点２（範囲）の審議<br>・論点３（ゾーンと主要機能配置）、論点４（活動アイデア）の検討　・社会実験企画の検討 |
| R6 年 11 月下旬 | 第 3 回協議会 | ・論点３（ゾーンと主要機能配置）の審議　・論点４（活動アイデア）の検討、審議<br>・かわまち申請案の検討 |
| R7 年 3 月下旬 | 第 4 回協議会 | ・論点１～４の決定　・かわまち申請案の決定 |

